PR

ポイ活の上位版

やってみたいを、
最初の一歩に。

A8.netの
セルフバックで

副業の第一歩を踏み出す方法

～登録から案件選び・報酬の受け取り・
税金まで、失敗しない注意点つきで解説～



- 初心者でもやさしくわかる
- 登録から報酬の受け取りまで
  図解で解説
- 税金の基本や注意点も
  しっかりカバー

知って、試して、次のステップへ

目次

はじめに …… 2

第1章　A8.netに無料登録して準備を整える …… 3

登録前に用意するもの3つ …… 3
公式サイトから登録する手順 …… 4
メール認証とログイン確認 …… 5
登録時によくある入力ミス …… 7

第2章　セルフバックの仕組みを理解する …… 9

セルフバックとは何か …… 9
広告主が報酬を払う理由 …… 10
ポイ活との違いを比較 …… 11
セルフバックでできないこと …… 12

第3章　セルフバック専用ページを探す …… 14

管理画面の基本構成を知る …… 14
セルフバックページへの行き方 …… 15
カテゴリ一覧の見方 …… 16
検索機能で案件を絞り込む …… 18

第4章　初心者向けの安全な案件を選ぶ …… 20

無料案件と有料案件の違い …… 20
初心者におすすめの案件タイプ …… 21
案件ページの見るべき項目 …… 22
避けたほうがよい案件の特徴 …… 23

第5章　案件の達成条件を正しく読む …… 26

成果条件の読み方の基本 …… 26
期限や回数の注意点 …… 27
対象外になりやすい行動 …… 28
条件が分からないときの確認方法 …… 29

第6章　案件に申し込み実際に行動する …… 32

広告リンクをクリックする手順 …… 32
申し込みフォームの入力注意 …… 33
条件達成の記録を残す方法 …… 35
完了後にやるべき確認作業 …… 37

第7章　成果の反映と承認を確認する …… 39

成果が反映されるタイミング …… 39
未確定と確定の違い …… 40
承認されないときの原因 …… 41
問い合わせ窓口の使い方 …… 42

第8章　確定した報酬を口座に振り込む …… 45

報酬の振込条件を確認する …… 45
振込口座の登録手順 …… 46
振込申請の実際の操作 …… 47
振込予定日と手数料の目安 …… 48

第9章　税金の基本を知り記録をつける …… 51

所得として扱われる理由 …… 51
申告が必要になる目安 …… 51
収支を記録する簡単な方法 …… 53
専門家に相談すべき場面 …… 55

第10章　次の案件へ安心して進む …… 57

定期的に案件をチェックする習慣 …… 57
季節限定案件の探し方 …… 58
無理のないペース配分の考え方 …… 59
自分なりの記録表を作る …… 60

おわりに …… 63

はじめに

【PR】アフィリエイト広告について
本ガイドにはA8.netのアフィリエイト広告リンクが含まれています。リンク経由の登録で運営者に紹介報酬が発生する場合があります。
A8.net公式サイトを開く（PR）　※A8.netへの登録は無料です。利用条件は公式サイトでご確認ください。

「副業に興味はあるけれど、何から始めればいいかわからない」。そんな状態で検索をくり返していませんか。ブログやSNSで発信するのはハードルが高い。動画編集やライティングは、スキルを覚えるまでに時間がかかる。そう感じて、結局何も始められないまま今日に至った人も多いと思います。

そんな人にまず知ってほしいのがセルフバックです。無料のアプリをインストールしたり、無料会員登録をしたりするなど、条件によって報酬を受け取れる仕組みがあります。サイトを作る必要も、文章を書くスキルも必要ありません。登録にかかる時間は15分ほどが目安です。

ただし、この教材は「セルフバックだけで生活できるようになる方法」を紹介するものではありません。セルフバックはあくまで副業の入り口です。得られる報酬は案件や条件によって異なります。過大な期待を持たず、次の挑戦への足がかりとして考えてください。

1ページでわかる！無料登録で報酬をもらう仕組み

まず全体像

なぜお金がもらえるの？

企業は、新しいお客さんを増やすために広告費を使っています。決められた条件を満たして承認されると、その一部が報酬として支払われる仕組みです。自分自身の申し込みが対象になる方法を「セルフバック」といいます。

はじめ方4ステップ

1. **A8.netに無料登録**（約15分が目安）— メールアドレスなど必要情報を用意
2. **管理画面の「セルフバック」を開く** — カテゴリや検索で案件を探す
3. **対象の案件ページから申し込む** — 成果条件を先に確認する
4. **成果の確定・振込条件を確認** — 審査や振込まで時間がかかる場合があります

最初はお金を払わない案件だけで

順番	タイプ	内容の例	報酬
① まずここ	資料請求	保険・住宅などの資料を取り寄せる	案件次第
② 慣れたら	無料会員登録	アプリやサービスへ登録する	案件次第
③ 必要なら	口座開設	銀行・証券口座などを開設する	案件次第

報酬がもらえなくなる落とし穴

- **条件の読み飛ばし** — 申し込み後の追加手続きや期限も確認する
- **無料体験の自動有料化** — 解約条件や継続料金を確認する
- **過去に使ったサービス** — 新規限定の案件では対象外になる場合があります

受け取ったら記録を

報酬については、日付・案件名・金額を記録しておきましょう。申告の要否は所得の状況によって異なります。所得税の確定申告が不要でも、住民税の申告が必要な場合があります。

CHAPTER 01

A8.netに無料登録して準備を整える

1

「副業を始めたいけど、サイトもブログも持っていない」。そんな状態からスタートする方がほとんどです。A8.netは、実はサイトを持っていなくても登録できる仕組みが用意されています。この章では、登録前の準備から、実際の登録手順、メール認証、よくある入力ミスまで、迷わず最後までたどり着けるように順番に見ていきます。

登録前に用意するもの3つ

A8.netに登録する前に、手元に3つのものを用意しておきましょう。これがあるかないかで、登録のスムーズさがまったく変わってきます。

1. 普段使っているメールアドレス

A8.netからの連絡は、すべてこのメールアドレス宛に届きます。仮登録の確認メールも、報酬が発生したお知らせも、すべてここに届くので、普段から開くメールアドレスを使ってください。

携帯キャリアのメール（docomoやauなど）を使う場合、迷惑メールフィルターが強く設定されていると、確認メールが届かないことがあります。できればGmailなどのフリーメールを新しく1つ作っておくと安心です。副業用のやりとりを1か所にまとめられるので、後で見返すときも楽になります。

2. 銀行口座の情報

セルフバックで得た報酬は、最終的に銀行口座に振り込まれます。登録の段階ではまだ口座情報の入力までは必要ない場合もありますが、あとで必ず聞かれる項目なので、通帳やキャッシュカードを手元に置いておくと作業が止まりません。

- 銀行名・支店名
- 口座番号
- 口座名義（カタカナでの表記）

この3つをメモしておきましょう。特に口座名義のカタカナ表記は、姓と名の間にスペースを入れるかどうかなど、通帳に記載された通りに入力する必要があります。ここは第8章でくわしく扱いますが、今のうちに確認しておくと二度手間になりません。

3. 本人に関する基本情報

登録フォームでは、氏名・生年月日・住所・電話番号・職業といった基本情報の入力を求められます。これは怪しい手続きではなく、税務上の身元確認や、報酬の支払い先を特定するために必要な、一般的なアフィリエイトサービスの仕組みです。

用意するものチェックリスト ここが要点

- 普段使うメールアドレス（なければフリーメールを新規作成）
- 銀行口座の通帳またはキャッシュカード
- 本人確認に使える情報（住所・生年月日・電話番号）

この3つが揃っていれば、登録作業は10分ほどで終わります。逆に、口座情報を探しながら途中で席を立ってしまうと、入力内容が消えてしまい、最初からやり直しになることもあります。先に全部そろえてから始めるのが、遠回りに見えて一番早い道です。

公式サイトから登録する手順

準備が整ったら、下の登録の流れに沿って手続きを進めましょう。最初のステップは、
本書の「A8.net公式サイトを開く（PR）」から登録ページへ進むことです。
リンク先がA8.net公式サイトであることを確認してから登録してください。

登録の流れ

1. A8.net公式サイトを開く（PR・こちらをクリック）
2. トップページにある「無料会員登録」のボタンをクリックする
3. メールアドレスを入力し、仮登録メールを送信する
4. 届いたメールのリンクをクリックし、本登録ページへ進む
5. 基本情報（氏名・住所・生年月日・職業など）を入力する
6. サイトをお持ちかどうかを選択する画面が出てくる
7. 入力内容を確認し、登録を完了する

ここで多くの初心者がつまずくのが、手順6の「サイトをお持ちかどうか」という質問です。A8.netは本来、ブログやホームページを持つ人が、そこに広告を貼って報酬を得るための仕組み（アフィリエイト）を扱うサービスです。

サイトを持っていなくても、登録をあきらめる必要はありません。

「サイトをお持ちでない方」を選ぶと、A8.netが運営する無料ブログサービス「ファンブログ」を使って、仮のサイトを簡単に作る案内が出てきます。これは数分で作成できる簡易的なブログで、セルフバックを使うためだけなら、デザインを整えたり記事を書いたりする必要はありません。いわば「会員証代わりの入れ物」のようなものだと考えてください。

サイトなしで登録を進める手順　手順

1. 「サイトをお持ちでない方」を選択する
2. 案内に従ってファンブログのアカウントを作成する
3. ブログのタイトルは仮のもので構わない（後から変更も可能）
4. 作成が完了すると、A8.netの登録手続きに戻る
5. 残りの基本情報を入力して登録を完了する

入力が進んでいくと、職業やメディアの種類を選ぶ項目も出てきます。「学生」「会社員」「主婦・主夫」といった一般的な選択肢が用意されているので、当てはまるものを選べば問題ありません。ここで嘘の情報を入れる必要はまったくなく、正直に答えれば十分です。

最後に、入力内容の確認画面が表示されます。氏名の読み仮名や住所の番地など、細かい部分まで表示されるので、ここで一度立ち止まって見直すことをおすすめします。確認画面を飛ばしてしまうと、後から気づいて修正する手間がかかります。

すべての入力が終わると、「登録を完了しました」といった趣旨の画面が表示されます。この時点ではまだ正式な利用開始ではなく、次のメール認証という一手間が残っています。焦らず次の節に進みましょう。

メール認証とログイン確認

登録フォームを送信しただけでは、A8.netの利用はまだ始まりません。もう一段階、メールを使った本人確認の作業が残っています。これを飛ばしてしまうと、せっかく入力した情報が無駄になってしまうので、必ず最後まで進めてください。

メール認証の流れ

1. 登録したメールアドレスの受信ボックスを開く
2. 「A8.net」からのメールを探す（件名に「本登録」「確認」などの文字が入っていることが多い）
3. メール本文内にあるURLをクリックする
4. ブラウザが開き、「本登録が完了しました」といった表示が出る

ここで注意したいのが、メールが届くまでに数分かかる場合があるという点です。1〜2分待っても届かないときは、以下を確認してみましょう。

- 迷惑メールフォルダに振り分けられていないか
- 入力したメールアドレスに誤字がないか
- キャリアメールの迷惑メールフィルターが強すぎないか

> **! メールが届かないときの対処**　つまずきポイント
>
> 迷惑メールフォルダを確認しても見当たらない場合、メールアドレスの入力自体を間違えている可能性があります。この場合、一度最初の登録画面からやり直す必要があります。焦って何度も登録ボタンを押すと、重複した仮登録が複数できてしまうことがあるので、まずは5分ほど待ってから、フォルダをもう一度確認してください。

メール内のURLをクリックすると、本登録完了の画面が表示されます。ここでようやく、A8.netの会員として正式にログインできる状態になります。

ログインの確認

本登録が終わったら、実際にログインできるかを確認しておきましょう。トップページの「ログイン」ボタンから、登録時に設定したログインIDとパスワードを入力します。

1. A8.net公式サイトのトップページを開く
2. 「ログイン」をクリックする
3. ログインIDとパスワードを入力する
4. 「ログイン」ボタンを押す
5. 管理画面（会員専用ページ）が表示されれば成功

管理画面が表示されたら、画面の上部や左側に「セルフバック」という文字が見えるか、軽く探してみてください。見つからなくても心配いりません。管理画面の構成とセルフバックページへの行き方は、第3章でひとつずつ丁寧に確認していきます。

ここでは「ログインできる状態になった」ことが確認できれば十分です。IDとパスワードは、スマートフォンのメモ機能やパスワード管理アプリなどに控えておくと、次回以降の作業がスムーズになります。

登録時によくある入力ミス

登録作業そのものは難しいものではありません。ただ、急いで入力を進めると、小さなミスが積み重なって、あとから修正に時間がかかることがあります。ここでは、実際によく起きるミスのパターンを紹介します。

よくあるミス一覧

ミスの内容	起きやすい場面	対処法
メールアドレスの誤字	スマホでの入力時に多い	確認画面でもう一度目視チェック
氏名のローマ字・カナの誤り	パスポート表記と異なる書き方をしてしまう	公的書類の表記に合わせる
口座名義のカナ表記ミス	スペースの有無、姓名の順番	通帳の表記をそのまま転記する
郵便番号と住所の不一致	自動入力機能のズレ	手入力で番地まで再確認する
パスワードの使い回し	他サービスと同じものを設定	専用の新しいパスワードを作る

メールアドレスの誤字

一番多いのが、メールアドレスの打ち間違いです。特にスマートフォンでの入力は、「.（ドット）」と「,（カンマ）」を間違えたり、アルファベットの大文字小文字を変換ミスしたりすることがあります。入力後、必ずもう一度見直すことを習慣にしてください。

氏名やカナの表記ミス

氏名のふりがなを入力する欄では、普段あまり意識しない「姓と名の間にスペースを入れるかどうか」で迷う方がいます。基本的にはどちらでも大きな問題にはなりませんが、銀行口座の名義情報とA8.netの登録情報が大きく食い違っていると、後の振込手続きで確認作業が発生することがあります。

例 こんな入力ミスがありました 具体例

ある方は、急いで登録を進めた際に、口座名義を「サトウ ハナコ」ではなく「佐藤 花子」と漢字で入力してしまいました。登録自体はそのまま完了しましたが、後日、口座情報を再登録し直す手間が発生しました。最初から通帳の表記通りに入力するだけで、こうした手間は避けられます。

パスワードの設定について

パスワードは、他のサービスで使っているものと同じにしないようにしましょう。**同じパスワードを複数のサービスで使い回すと、どこか1つが漏れたときに他のアカウントまで危険にさらされます。**大文字・小文字・数字を組み合わせた、A8.net専用のパスワードを新しく作ることをおすすめします。

入力ミスに気づいたときは

登録後に誤りに気づいた場合でも、慌てる必要はありません。多くの項目は、ログイン後の管理画面にある「登録情報の変更」といったメニューから、自分で修正できます。氏名や住所など、重要な個人情報については本人確認のための手続きが必要になることもありますが、サポート窓口の案内に沿って進めれば対応可能です。

登録はゴールではなく、ここからが本当のスタートです。次の章では、今回登録したA8.netで「セルフバック」とは具体的に何なのか、仕組みから丁寧に見ていきます。

SUMMARY　この章のまとめ

- ✓ メール・口座情報・本人情報の3つを先に準備すると登録が止まらない
- ✓ サイトがなくてもファンブログで仮サイトを作れば登録を進められる
- ✓ 仮登録後のメール認証を完了させて初めてログインできる状態になる
- ✓ 氏名や口座名義の表記ミスは後の振込手続きで手間になりやすい

CHAPTER 02

セルフバックの仕組みを理解する

2

第1章でA8.netの登録を終えて、管理画面に入れるようになりましたね。でも「セルフバックって結局なに？」「ポイ活と何が違うの？」と、まだモヤモヤしている人も多いはずです。この章では、セルフバックの仕組みをゼロから整理して、人に説明できるレベルまで理解を深めていきます。

セルフバックとは何か

セルフバックとは、A8.netに登録している人なら誰でも使える、自分自身が広告の申し込みやサービス利用をすることで報酬を受け取れる仕組みのことです。

言葉だけだとピンと来ないかもしれません。具体的な場面で考えてみましょう。

例 クレジットカード発行の例 具体例

A8.netのセルフバックページを見ていると、「○○カード発行で8,000円」という案件が見つかったとします。この案件に申し込んで、実際にカードを発行してもらう。それだけで8,000円がA8.netを通じて自分に支払われる、という流れです。

普通のアフィリエイトは、自分のブログやSNSで商品を紹介して、それを見た誰かが申し込んだときに報酬が発生します。つまり「他人に買ってもらう」仕組みです。

一方でセルフバックは、紹介する相手が他人ではなく自分自身です。サイトもブログも必要ありません。A8.netに登録さえしていれば、管理画面からセルフバックページに入り、気になる案件を見つけて申し込むだけで完結します。

ここで「え、そんなにカンタンでいいの？」と疑問に思った人もいるかもしれませんね。その疑問はとても大切です。なぜそんな仕組みが成り立つのか、次の節で広告主側の視点から説明していきます。

まず押さえておいてほしいのは、セルフバックは特別な才能やスキルが要らないという点です。文章を書く必要もなければ、SNSのフォロワーを増やす必要もありません。「申し込む」「利用する」という行動そのものが報酬の対象になる、これがセルフバックの最大の特徴です。

- サイトやブログを持っていなくても使える
- 文章力や発信力は一切関係ない
- 必要なのはA8.netへの登録だけ

案件の種類もさまざまです。クレジットカードの発行、FX口座の開設、動画配信サービスの無料体験登録、化粧品の商品購入など、ジャンルは多岐にわたります。中には「資料請求するだけ」「アプリをダウンロードするだけ」といった、お金を一切使わずに報酬がもらえる案件もあります。

逆に言うと、案件によって「無料で完結するもの」と「お金を払う必要があるもの」が混ざっているということです。この違いをきちんと見分けられるようになることが、セルフバックを安全に使うための第一歩になります。詳しい見分け方は第4章で扱いますので、ここでは「セルフバックにはいろんな種類の案件がある」ということだけ覚えておいてください。

広告主が報酬を払う理由

「自分で申し込むだけでお金がもらえるなんて、広告主は損をしないの？」

そう思うのは自然なことです。でも、広告主側の視点に立つと、ちゃんと合理的な理由があります。

広告主、つまり商品やサービスを提供している会社にとって、一番の目的は新しいお客さんを増やすことです。たとえばクレジットカード会社であれば、新しくカードを発行してくれる人を1人でも多く増やしたいと考えています。

ここで重要なのが「広告費をどこに使うか」という発想です。テレビCMや雑誌広告を出すと、何千万円という費用がかかります。しかも、その広告を見た人全員がカードを発行してくれるわけではありません。見るだけで終わる人がほとんどです。

一方セルフバックの場合、広告主が報酬を支払うのは実際にカードが発行された人に対してだけです。申し込んだだけで発行されなかった人には、報酬は発生しません。つまり広告主にとっては、成果が出たときだけお金を払えばいいという、とても無駄のない仕組みなのです。

成果報酬型という考え方　ここが要点

セルフバックは「成果報酬型広告」と呼ばれる仕組みの一部です。広告を見てもらうことにお金を払うのではなく、実際に申し込み・購入・会員登録などの成果が出たときだけお金を払う。これが広告主にとってのメリットです。

広告主からすると、セルフバックで新しいお客さんを獲得できれば、その人が将来的にカードを使い続けてくれるかもしれません。最初の8,000円は、いわば「新規のお客さんを獲得するための投資」というわけです。

実際の場面を想像してみましょう。

例 広告主側の視点で考える 具体例

あるFX会社が、新しく口座を開設してくれた人に5,000円を支払うとします。1,000人が口座を開設すれば、広告主が払う金額は500万円です。一見大きな金額に見えますが、その中から継続的に取引をしてくれる人が出てくれば、広告主にとっては十分に見合う投資になります。

ここで一つ、読者のみなさんに意識してほしいことがあります。セルフバックは広告主にとって「新規顧客を獲得するためのコスト」だということです。つまり、何度も同じサービスに申し込んで報酬を繰り返しもらう、ということは基本的にできません。多くの案件は「初めてその商品・サービスを利用する人」が対象になっています。

すでに口座を持っているサービスや、過去に利用したことがあるサービスは、セルフバックの対象外になることがほとんどです。申し込む前に、自分が過去に利用したことがないかを確認しておきましょう。

この「新規顧客限定」という条件は、セルフバックを理解するうえでとても重要なポイントです。この仕組みを知っておくと、「なんで報酬がもらえなかったんだろう？」という疑問を未然に防ぐことができます。

ポイ活との違いを比較

ここまで読んで、「それってポイ活と同じじゃないの？」と思った人もいるかもしれません。確かに似ている部分はありますが、仕組みも報酬の規模も違います。

まずポイ活とは何か、簡単に言い換えておきます。ポイ活とは、アンケートに答えたり、特定のアプリを使ったり、買い物をしたりすることで、ポイントを少しずつ貯めていく活動のことです。貯まったポイントは、現金や電子マネー、商品券などに交換できます。

一方でセルフバックは、1件あたりの報酬が数百円から、高いものだと数万円になることもあります。この規模の違いが、両者の一番大きな差です。

比較項目	ポイ活	セルフバック
1件あたりの報酬	数円〜数百円程度	数百円〜数万円程度
対象になる行動	アンケート回答・歩数記録など日常的な行動	クレジットカード発行・口座開設・商品購入など
繰り返し利用	何度も継続できるものが多い	基本的に1人1回までが多い
必要な手間	短時間で完了するものが多い	条件達成まで数日〜数週間かかることもある

ポイ活は「コツコツ積み上げる」タイプの活動です。1回の作業は数分で終わりますが、1件あたりの報酬は数円から数十円程度にとどまることが多く、まとまった金額にするには時間がかかります。

これに対してセルフバックは「1件で大きく稼ぐ」タイプです。たとえばクレジットカードを1枚発行するだけで5,000円、FX口座を開設して一定額を入金するだけで10,000円、といった案件も珍しくありません。

✓ 両方を組み合わせる考え方 コツ

ポイ活とセルフバックは、どちらか一方を選ぶものではありません。普段のスキマ時間はポイ活でコツコツ、まとまった行動が取れるタイミングではセルフバックで大きめの報酬を狙う、という組み合わせ方もできます。

ただし、セルフバックには見落としがちな注意点があります。それは、案件によっては一定期間、商品やサービスを利用し続けないと成果として認められないものがあるということです。たとえば「3カ月間継続して利用すること」が条件になっている動画配信サービスの案件では、1カ月で解約してしまうと報酬が発生しません。

ポイ活の多くは「その場で完結する」行動が中心ですが、セルフバックは「申し込んでから成果が確定するまでに時間がかかる」案件もある、という違いも覚えておきましょう。この違いを理解していないと、「申し込んだのに報酬がもらえない」という誤解につながります。この点については、第5章の「達成条件を正しく読む」で詳しく扱います。

セルフバックでできないこと

ここまでセルフバックの仕組みやメリットを説明してきましたが、できないこと・やってはいけないことも、同じくらい大切な情報です。先に知っておくことで、無駄な失敗を防げます。

同じ案件への重複申し込みはできない

前の節でも触れましたが、セルフバックの多くは「新規のお客さん」を対象にしています。一度利用したことがあるサービスに、別の名義やメールアドレスを使って再度申し込むことは、規約違反にあたります。

! 名義を変えての再申し込みに注意 つまずきポイント

家族のクレジットカードをすでに持っている場合、家族名義で別のカードに申し込んでも、同一世帯とみなされて対象外になることがあります。案件ごとの注意事項に「同一世帯の方は対象外」と書かれていないか、必ず確認してください。

条件を満たさない行動は報酬にならない

セルフバックは「申し込めば必ずお金がもらえる」という仕組みではありません。案件ごとに決められた成果条件を満たして初めて、報酬が発生します。

たとえば「口座開設後、1万円以上の入金をすること」が条件の案件で、口座開設だけして入金をしなければ、報酬は発生しません。申し込みボタンを押しただけで安心してしまうのは危険です。

広告主のサービスを悪用することはできない

無料体験だけを目的に申し込んで、期間内に解約する、という行動を繰り返すことを前提にした使い方は想定されていません。各サービスの利用規約に違反する行為が見つかった場合、報酬が取り消されるだけでなく、A8.netのアカウント自体が利用停止になることもあります。

規約違反が見つかると、これまで貯めた報酬がすべて無効になる場合があります。目先の報酬だけを追いかけて、無理な申し込みを繰り返すことは避けましょう。

収入が保証されているわけではない

セルフバックは、案件の数にも報酬額にも限りがあります。初心者が無理なく取り組める案件は、せいぜい月に数件から十数件程度が現実的な範囲です。「セルフバックだけで生活できる」といった過度な期待は持たないようにしてください。あくまで、副業の最初の一歩として、仕組みを体験しながら少しずつ収入を得る方法だと捉えておきましょう。

ここまでで、セルフバックの仕組みと、ポイ活との違い、そしてできないことが整理できたと思います。

1 仕組みを理解する ▶ 2 違いを把握する ▶ 3 注意点を押さえる ▶ 4 実際の案件を探す

次の第3章では、いよいよ管理画面からセルフバック専用ページを探し出して、実際にどんな案件があるのかを見ていきます。

SUMMARY この章のまとめ

- ✓ セルフバックは自分の申し込みが報酬になる仕組みで、サイト不要で使える
- ✓ 広告主は新規顧客獲得のコストとして報酬を支払っている
- ✓ ポイ活は少額コツコツ型、セルフバックは1件あたりの報酬が大きい
- ✓ 重複申し込みや条件未達成は報酬にならず、規約違反は停止につながる

CHAPTER 03

セルフバック専用ページを探す

3

A8.netのアカウントは作った。でも、管理画面を開いた瞬間に「どこを見ればいいの？」と固まってしまう人は少なくありません。文字や数字がぎっしり並んでいて、どれが自分に必要な情報か分からないんですよね。この章では、管理画面の中からセルフバック専用ページにたどり着くまでの道のりを、迷わないように一つずつ確認していきます。

管理画面の基本構成を知る

A8.netにログインすると、最初に表示されるのが「会員管理画面（通称:マイページ）」です。ここが、これからあなたが何度も訪れることになる拠点になります。まずは全体の構成をざっくりつかんでおきましょう。

画面の上部には、横並びのメニューバーがあります。ここには「プログラム検索」「広告主一覧」「セルフバック」といった項目が並んでいて、画面の左側には縦長のメニューが並んでいます。こちらには「成果報酬」「お知らせ」「サポート」などの項目があります。

初めてこの画面を見たとき、情報量の多さに圧倒される人がとても多いです。実際、A8.netは広告主（商品やサービスを紹介してほしい企業）と、紹介する人（あなたのような利用者）をつなぐ仲介サイトなので、扱っている案件の数がとても多いんです。案件数が多いということは、それだけ画面に表示する情報も多くなる、ということですね。

ここで大事なのは、全部を理解しようとしないことです。今のあなたに必要なのは、セルフバックのページにたどり着くための「道しるべ」を知ることだけです。他のメニューは、今は見なくて大丈夫です。

覚えておきたい3つのエリア　ここが要点

- 上部メニューバー:ページ間を移動するときに使う
- 左側メニュー:成果や報酬の状況を確認するときに使う
- 中央のメイン画面:お知らせやキャンペーン情報が表示される

管理画面の構成を人に説明するとしたら、こう言えます。A8.netの管理画面は「移動用のメニュー」と「状況確認用のメニュー」の2つに分かれている、と。この区別がつくだけで、画面を見る目がぐっと変わってきます。

ちなみに、パソコンとスマートフォンでは画面の見え方が少し違います。スマートフォンの場合、画面右上や左上に「三本線のアイコン（メニューボタン）」があり、そこをタップすることでメニュー一覧が開く仕組みになっていることが多いです。もし今スマートフォンで管理画面を開いているなら、まずこのアイコンを探してみてください。

! 見つからないときは焦らない　つまずきポイント

A8.netの画面デザインは、時期によって少しずつ更新されることがあります。本書で説明している配置と、実際の画面の配置が多少ずれていることもあります。そんなときは「セルフバック」という文字を画面内で探すことを意識してみてください。文字自体がなくなることはほとんどありません。

ここまでで、管理画面が「移動のための部分」と「確認のための部分」でできていることが分かりました。次は、いよいよセルフバックのページへ実際に移動してみましょう。

セルフバックページへの行き方

それでは実際に、セルフバックの専用ページまで移動してみます。手順はとてもシンプルです。順番通りに進めれば、迷うことはありません。

1. A8.netにログインする
2. 画面上部のメニューバーを確認する
3. 「セルフバック」という文字を探してクリック（スマホならタップ）する
4. セルフバック専用ページが開く

これだけです。拍子抜けするくらい簡単ですよね。ただ、初めての人がつまずきやすいポイントがいくつかあるので、ここで先に潰しておきましょう。

まず、「セルフバック」という文字は、他のメニュー項目と比べて目立つ色で表示されていることが多いです。オレンジ色や赤色など、少し強調された色になっているケースがよく見られます。これは、A8.net側が「ここが初心者にとって入り口になりやすい」と意識しているからだと考えられます。色の濃い文字を探す、というのも一つの手がかりになります。

例 よくあるつまずき 具体例

Aさんは登録を済ませたあと、管理画面を開きました。でも「セルフバック」という文字が見当たらず、代わりに「プログラム検索」という文字をクリックしてしまいました。すると、案件一覧のような画面は出てきたものの、セルフバックとは違う種類の情報ばかりが表示されて混乱してしまいました。実はこの「プログラム検索」は、ブログやサイトを運営している人が広告を貼るために使う機能です。セルフバックとは目的が違うページなんですね。

このように、似たような名前のメニューがいくつか並んでいるのが、A8.netの画面の特徴です。**「セルフバック」という文字そのものを見つけてクリックすること。これが一番確実な方法です。**

もしメニューバーの中に見当たらない場合は、画面を下にスクロールしてみてください。ページの中央部分に、大きなバナー（画像付きのリンク）で「セルフバックを始めよう」といった案内が表示されていることもあります。バナーをクリックしても、同じセルフバックページにたどり着けます。

✓ ブックマークしておくと次回が楽 コツ

セルフバックページにたどり着いたら、そのページをブラウザの「お気に入り」や「ブックマーク」に登録しておくことをおすすめします。次回からは、管理画面でメニューを探す手間が省けて、一気にセルフバックページへ移動できるようになります。スマートフォンなら、ホーム画面にショートカットを追加しておくのも便利です。

ここまでできれば、あなたはもうセルフバックページの入り口に立っています。次は、このページの中身がどう整理されているのか、カテゴリという切り口から見ていきましょう。

カテゴリ一覧の見方

セルフバックページを開くと、画面にはたくさんの案件が並んでいます。数にすると、時期によって異なりますが、数百件から千件以上の案件が掲載されていることも珍しくありません。これだけの数があると、上から順番に見ていくのは現実的ではないですよね。

そこで役立つのがカテゴリです。カテゴリというのは、案件を種類ごとに分類した「棚」のようなものだと考えてください。スーパーで買い物をするとき、野菜売り場、お肉売り場、お菓子売り場と分かれていると探しやすいですよね。それと同じ発想です。

A8.netのセルフバックページでは、おおよそ次のようなカテゴリに分かれています。

カテゴリの例	どんな案件が多いか
クレジットカード	カードを新規発行すると報酬が発生する案件
口座開設	銀行口座や証券口座を開くと報酬が発生する案件
資料請求	無料の資料を取り寄せるだけで報酬が発生する案件
会員登録	無料会員登録をすると報酬が発生する案件
美容・健康	サプリや化粧品のお試し購入に関する案件

この表はあくまで一例です。実際の分類名や数は時期によって変わりますが、「お金に関する案件」「無料で試せる案件」「購入が必要な案件」といった大まかな性質は、ある程度共通しています。

カテゴリ一覧は、画面の左側や上部にタブのような形で並んでいることが多いです。気になるカテゴリをクリックすると、そのジャンルの案件だけが絞り込まれて表示されます。

◆ カテゴリを見るときの視点

ここが要点

- 「自分が今すぐ条件を満たせそうか」で見る
- 「お金を払う必要があるか、無料か」で見る
- 「どのくらいの時間がかかりそうか」で見る

ここで一つ、注意しておきたいことがあります。カテゴリの中には、クレジットカードの新規発行や証券口座の開設など、申し込みをすると審査が発生するものが含まれています。審査があるということは、申し込んだからといって必ず成果になるとは限らない、ということです。この点は第4章で、案件選びの基準として詳しく扱いますので、ここでは「カテゴリによって性質がかなり違う」ということだけ覚えておいてください。

また、カテゴリ名を見ただけでは中身が想像しにくいものもあります。たとえば「ライフスタイル」というカテゴリ名があったとして、具体的に何の案件が入っているのか、名前だけでは判断がつきませんよね。そういうときは、実際にクリックして中を覗いてみるのが一番早い方法です。見るだけなら費用は一切かかりませんから、気になったカテゴリは遠慮なく開いてみてください。

! カテゴリ移動のしすぎに注意

つまずきポイント

あれもこれもと次々カテゴリを開いていくと、どの案件を見ていたか分からなくなってしまうことがあります。気になった案件があったら、いったんページを開いたままにしておく、スマホならタブを分けておく、といった工夫をしておくと、後で見返すときに楽になります。

カテゴリの見方が分かると、セルフバックページ全体の地図がようやく見えてきます。次は、もっとピンポイントで案件を探すための「検索機能」を使ってみましょう。

検索機能で案件を絞り込む

カテゴリで絞り込んでも、まだ案件の数が多いと感じることがあります。たとえば「クレジットカード」のカテゴリだけでも、数十種類のカードが並んでいることがあるんです。ここからさらに絞り込みたいときに使うのが検索機能です。

セルフバックページの上部には、たいていキーワードを入力できる検索ボックスが用意されています。ここに言葉を入れて検索すると、その言葉に関係する案件だけが表示される仕組みです。

たとえば、こんな検索の仕方ができます。

- 「口座開設」と入力する → 口座開設に関する案件だけが表示される
- 「無料」と入力する → 無料で完了できる案件が表示されやすくなる
- 具体的な企業名（実在するサービス名など）を入力する → そのサービスの案件があるかどうか確認できる

検索結果の画面では、案件ごとに報酬の金額が表示されています。この金額を見て「高いものから試してみたい」と思う気持ち、よく分かります。ただ、ここで一つだけ覚えておいてほしいことがあります。

報酬額が高い案件ほど、条件が複雑だったり、費用がかかったりすることが多いです。これは第4章・第5章で詳しく扱いますが、検索の段階でも頭の片隅に置いておいてください。

検索結果の並び替え機能も活用できます。多くの場合、「報酬が高い順」「新着順」「人気順」といった並び替えのボタンが用意されています。初心者のうちは、「新着順」や「人気順」から眺めてみるのも一つの方法です。人気順に並んでいる案件は、多くの利用者が実際に選んでいる案件ということなので、極端に分かりにくい案件や特殊な案件は少ない傾向があります。

検索を使った絞り込みの流れ

手順

1. 検索ボックスに気になるキーワードを入力する
2. 検索結果の一覧を開く
3. 並び替え機能で見る順番を変えてみる
4. 気になった案件をクリックして詳細を確認する

検索機能を使うときに、もう一つ知っておくと便利なことがあります。それは、同じジャンルでも複数の案件が存在するということです。たとえばクレジットカードなら、A社のカード、B社のカード、C社のカード

と、似たような条件の案件がいくつも並んでいることがあります。この場合、報酬額や条件を比べて選べる、ということですね。比較するためには、気になった案件をいくつか開いて、報酬額と条件をメモしておくのがおすすめです。

✓ メモを取りながら探す

コツ

スマートフォンのメモ機能や、紙のノートでもかまいません。「案件名」「報酬額」「気になった条件」を3つくらい書き出しておくと、後で比較するときにとても役立ちます。画面を何度も行き来して記憶だけで比べようとすると、どれがどれだったか分からなくなってしまうことがよくあります。

検索ボックスに何も思いつかない、という場合もあると思います。そんなときは、無理にキーワードを考えなくても大丈夫です。カテゴリから気になるものを開いて眺めてみるだけでも、十分に案件探しは進みます。検索機能は、あくまで「数が多すぎて困ったときに使う道具」だと考えてください。

ここまでで、管理画面からセルフバックページにたどり着き、カテゴリと検索を使って案件を絞り込むところまで進みました。まだ案件に申し込む段階ではありません。次の章では、数ある案件の中から、初心者にとってリスクの低いものをどう見分けるか、具体的な基準を一緒に確認していきます。

SUMMARY この章のまとめ

- ✓ 管理画面は「移動用メニュー」と「確認用メニュー」に分かれている
- ✓ セルフバックの文字を探してクリックすれば専用ページに着く
- ✓ カテゴリは案件の種類ごとに分かれた棚のようなものである
- ✓ 検索と並び替えを使えば多すぎる案件も絞り込める

CHAPTER 04

初心者向けの安全な案件を選ぶ

4

前章で、セルフバック専用ページまでたどり着きましたね。案件がずらりと並んでいるのを見て、「どれを選べばいいの？」と手が止まっていませんか。この章では、初心者が安心して選べる案件の見分け方を、具体的な基準とともにお伝えします。読み終えるころには、自分で「これなら大丈夫」と判断できるようになっています。

無料案件と有料案件の違い

セルフバックのページを開くと、案件ごとに金額が表示されていますよね。この金額を見て、「お金を払わないといけないの？」と不安になった方もいるのではないでしょうか。ここでまず、無料案件と有料案件の違いをはっきりさせておきましょう。

無料案件とは、自分のお金を一切使わずに成果を達成できる案件のことです。例えば、クレジットカードの新規発行、口座開設、資料請求、アプリのダウンロード後に会員登録をするだけ、といったものが代表的です。これらは「申し込みをする」「会員登録をする」という行動そのものが成果条件になっているため、財布からお金を出す必要がありません。

一方、有料案件とは、商品の購入やサービスの契約など、実際にお金を支払うことで成果が発生する案件です。例えば、通販サイトでの買い物、サプリメントの定期購入、英会話スクールの入会などが該当します。この場合、支払った金額の一部、あるいは全部が後から報酬として戻ってくる仕組みになっています。

ここで一つ、具体的な場面を想像してみてください。

例 有料案件で起きがちな誤解　具体例

Aさんは「化粧水のお試しセット980円」という案件を見つけました。報酬は1,500円と表示されています。Aさんは「980円払っても1,500円戻ってくるなら得だ」と思い申し込みました。ところが、よく見ると「定期購入コース」で、2回目以降は通常価格の4,980円が自動的に請求される契約になっていました。Aさんは1回目で解約しようとしましたが、解約受付は「次回発送の10日前まで」という条件があり、間に合わずに2回目も請求されてしまいました。

このように、有料案件は「最初の支払いだけ見て得だと判断する」と、思わぬ出費につながることがあります。**有料案件に申し込むときは、2回目以降の請求や解約条件まで必ず確認してから申し込んでください。**

初心者のうちは、まず無料案件だけに絞って慣れていくことをおすすめします。無料案件であれば、最悪でも「手間だけかかって報酬がもらえなかった」という失敗で済みます。お金を失うリスクがないという点で、練習にはぴったりです。

- 無料案件:お金を払わず、登録や申し込みだけで成果になる
- 有料案件:商品購入やサービス契約でお金を払い、その一部が戻る

この違いを頭に入れておくだけで、案件一覧の見え方がガラッと変わってきます。金額の大きさだけで飛びつかず、「これは無料案件か、有料案件か」をまず確認する癖をつけましょう。

初心者におすすめの案件タイプ

無料案件と有料案件の違いが分かったところで、次は「具体的にどんな種類の案件から始めればいいのか」を見ていきましょう。セルフバックのページには、実にさまざまなジャンルの案件が並んでいます。クレジットカード、FX口座、動画配信サービス、脱毛サロンの無料カウンセリング、ポイントサイトの登録など、数えきれないほどの種類があります。

初心者の方には、次の3つのタイプから始めることをおすすめします。

1. 資料請求タイプ

住宅、保険、転職エージェントなどの資料を請求するだけで成果になる案件です。郵送やメールで資料が届くだけなので、何かを契約する必要がありません。報酬額は数百円程度のものが多いですが、その分リスクもほぼありません。

2. 無料会員登録タイプ

動画配信サービスの無料トライアル登録、クーポンアプリのダウンロード、ニュースアプリの会員登録などです。多くは「○日間は無料、その後は自動的に有料プランに移行する」という仕組みになっています。ここは注意が必要な部分でもありますが、裏を返せば無料期間内に解約すれば、一切お金を払わずに報酬だけを受け取れるということです。

3. 口座開設タイプ

銀行口座やネット証券口座の開設です。口座を作るだけで数千円の報酬がつくこともあり、セルフバックの中でも報酬額が高い部類に入ります。口座を維持するための費用はかからないことがほとんどなので、作ったまま放置しても特に損はありません。

初心者はこの順番で慣れていく ここが要点

1. 資料請求タイプで「申し込み→成果反映」の流れを体験する
2. 無料会員登録タイプで「解約期限を守る」練習をする
3. 口座開設タイプで報酬額の大きい案件にも挑戦する

この順番を意識すると、リスクの低いものから少しずつステップアップできます。いきなり高額な有料案件に挑戦すると、条件を見落として損をしてしまう可能性があります。まずは小さな成功体験を積み重ねることが大切です。

また、案件一覧を見ていると「報酬8,000円」「報酬15,000円」といった高額な表示に目を奪われがちです。しかし、報酬額の大きさだけで選ぶのは避けてください。高額な案件ほど、条件が複雑だったり、審査に時間がかかったりすることが多いからです。例えば、FX口座の開設で「1万円の取引を実行すること」が条件になっている案件もあります。この場合、実際に1万円を入金して取引をする必要があり、初心者にはハードルが高いと言えます。

最初のうちは、報酬額よりも「条件の分かりやすさ」を優先して選んでみてください。条件がシンプルな案件ほど、達成できたかどうかの判断もしやすく、安心して取り組めます。

案件ページの見るべき項目

案件を選ぶときは、一覧ページの金額だけを見て判断してはいけません。必ず案件名をクリックして、詳細ページまで進んでから申し込むかどうかを決めましょう。詳細ページには、判断材料になる情報がいくつも載っています。ここでは、特にチェックしてほしい4つの項目をお伝えします。

成果条件

「何をすれば成果と認められるのか」が書かれている部分です。「会員登録完了」「資料請求完了」「初回ログイン」など、案件によって条件はさまざまです。この条件を達成して初めて報酬が発生します。ここが曖昧なまま申し込んでしまうと、「何をすればいいのか分からないまま時間が過ぎてしまった」ということになりかねません。

報酬額

成果条件を達成した場合に受け取れる金額です。案件によっては「新規申し込みのみ」「過去にサービスを利用したことがある人は対象外」といった条件が付いていることもあります。自分がその条件に当てはまるかどうかも、申し込み前に確認しておきましょう。

否認条件

報酬が支払われない、つまり否認になるケースが書かれている部分です。例えば、「過去に同じサービスを利用したことがある場合は否認」「他社の広告を経由して申し込んだ場合は否認」といった文言です。ここを読み飛ばしてしまうと、せっかく行動したのに報酬がもらえない、という事態につながります。

承認までの期間

成果が反映されてから、実際に報酬として確定するまでの期間です。即日反映されるものもあれば、1ヶ月以上かかるものもあります。この期間が書かれていない案件は、問い合わせフォームなどで確認しておくと安心です。

詳細ページで確認する4つの項目 手順

1. 成果条件:何をすれば報酬の対象になるか
2. 報酬額:いくらもらえるか、対象者の条件はあるか
3. 否認条件:どんな場合に報酬が支払われないか
4. 承認までの期間:いつ頃、報酬が確定するか

これらの項目は、案件によって表示される場所が少しずつ違います。ページの上部にまとめて書かれている場合もあれば、下にスクロールした先に小さな文字で書かれている場合もあります。面倒に感じても、必ずページ全体を一度は目を通してください。特に否認条件は、見落としやすい場所に書かれていることが多いので注意が必要です。

また、案件によっては「獲得条件」という表現が使われていることもあります。これは成果条件とほぼ同じ意味だと考えて差し支えありません。言葉の表現は広告主によって多少異なりますが、意味している内容は「何をすれば報酬がもらえるか」という点で共通しています。

次の章では、この成果条件をさらに詳しく読み解く方法を扱います。ここではまず、「案件ページには最低でもこの4項目がある」ということを覚えておいてください。

避けたほうがよい案件の特徴

最後に、初心者のうちは手を出さないほうがよい案件の特徴をお伝えします。すべての案件が安全というわけではありません。中には、条件が複雑すぎたり、リスクが高かったりするものも混ざっています。

入金や取引を伴う投資系の案件

FX口座やネット証券で「○万円以上の入金」「○回以上の取引実行」が条件になっている案件があります。これらは入金した資金が相場の変動で減ってしまう可能性があります。**投資の知識がないまま高額な入金条件のある案件に挑戦するのは避けてください。**投資そのものについて学びたい場合は、セルフバックとは切り離して、専門家や信頼できる情報源で基礎から学ぶことをおすすめします。

条件が極端に細かい案件

「申し込みから30日以内にサービスを3回以上利用すること」「指定のオプションを2つ以上つけて契約すること」など、条件が何重にも重なっている案件があります。条件が複雑なほど、どこか一つを見落として否認になる可能性が高くなります。初心者のうちは、条件が1〜2個とシンプルな案件を選ぶほうが安心です。

高額な有料案件

数万円単位の商品購入やサービス契約が条件になっている案件は、報酬額も大きい分、支払う金額も大きくなります。仮に否認になってしまった場合、支払ったお金は戻ってこないこともあります。初心者のうちは、支払い額が数千円以内の案件にとどめておくと、万が一のときの被害も小さく抑えられます。

解約条件が分かりにくい案件

無料トライアル系の案件で、「解約方法が電話のみ」「解約受付時間が平日の日中だけ」といった案件があります。こうした案件は、解約し忘れて自動的に有料プランへ移行してしまうリスクが高まります。

! こんな案件には注意　つまずきポイント

- 入金や取引実行が条件になっている投資系の案件
- 条件が3つ以上重なっている複雑な案件
- 支払い額が数万円を超える高額な有料案件
- 解約方法が限定されていて手続きが分かりにくい案件

これらの特徴に当てはまる案件を見つけたら、「今の自分には早いかもしれない」と一度立ち止まってみてください。セルフバックは急いで取り組む必要はありません。分からないものには手を出さない、これが初心者のうちの一番の安全策です。

焦って高額案件に挑戦するよりも、シンプルで条件の分かりやすい案件を着実にこなしていくほうが、結果的に失敗が少なく、長く続けられます。次の章では、選んだ案件の成果条件をさらに正確に読み取る方法をお伝えします。

SUMMARY

この章のまとめ

- ✓ 無料案件から始め、お金を払う案件は条件を細部まで確認する
- ✓ 資料請求→無料登録→口座開設の順でリスクの低い案件に慣れる
- ✓ 案件ページは成果条件・報酬額・否認条件・承認期間を必ず確認する
- ✓ 投資系や高額・複雑な条件の案件は初心者のうちは避ける

CHAPTER 05

案件の達成条件を正しく読む

5

前の章で、気になる案件が見つかりましたね。でも、ここで焦って申し込むのはまだ早いです。案件ページには「成果条件」という、報酬をもらうためのルールが書かれています。この条件を読み違えると、せっかく行動しても報酬がもらえないということが起こります。この章では、条件を正しく読み取るコツを身につけていきます。

成果条件の読み方の基本

案件ページを開くと、報酬額の下あたりに小さな文字でびっしりと条件が書かれています。ここを読まずに「報酬が高いから」という理由だけで申し込むのは、とても危険です。まずは、成果条件とは「何をしたら報酬が発生するか」を定めたルールのことだと覚えてください。

成果条件は、だいたい次のような要素でできています。

- 達成すべき行動（会員登録、資料請求、商品購入など）
- 行動を完了させる期限
- 申し込みから何日以内に完了すればよいか
- 年齢や居住地域などの対象者条件
- 一人につき一回だけかどうか

例えば、「無料会員登録」という案件があったとします。条件欄には次のように書かれていることが多いです。

> **成果条件：会員登録完了（登録後のアンケート回答まで完了すること）**

ここで注意したいのは、「会員登録完了」の一言だけで終わっていないということです。カッコの中に「アンケート回答まで」と追加の条件が書かれていますよね。この一文を読み飛ばすと、「登録はしたのに報酬がつかない」という事態になります。

成果条件を読むときは、一文ずつ区切って声に出して読んでみるのがおすすめです。黙読だと目が滑ってしまいがちですが、声に出すと「あ、ここに条件が追加されている」と気づきやすくなります。

条件文は「主語・動詞・条件」に分解して読む

ここが要点

例えば「登録後30日以内にログインした会員」という条件文があったら、こう分解します。

- 誰が：登録した会員が
- いつまでに：登録後30日以内に
- 何をする：ログインする

この3つがすべて揃って初めて成果になります。どれか一つでも欠けると、対象外になる可能性があります。

また、案件ページの下のほうには「注意事項」や「備考」という欄があることも多いです。ここには、成果条件の本文には書ききれなかった細かいルールが書かれています。本文だけ読んで満足せず、備考欄まで目を通すことを習慣にしてください。備考欄を読まずに申し込んだ結果、「実は過去に同じサービスを利用したことがある人は対象外」という条件を見落としてしまう、というケースは初心者にとても多いです。

最後に、条件文の中で特に注意したい言葉を挙げておきます。

言葉	注意する理由
「新規」	過去に利用歴があると対象外になることが多い
「完了」	途中までではなく最後まで進める必要がある
「本人名義」	家族名義の口座やカードは対象外になりやすい
「初回のみ」	二回目以降の申し込みでは成果にならない

これらの言葉を見つけたら、一度立ち止まって「自分はこの条件に当てはまるか」を確認する癖をつけましょう。

期限や回数の注意点

成果条件を読むときに、多くの初心者がつまずくのが「期限」と「回数」です。これは見落としても気づきにくいので、特に注意が必要です。

まず期限についてです。セルフバックの案件には、だいたい二種類の期限があります。

1. 広告リンクをクリックしてから、申し込みフォームに入力を完了するまでの期限
2. 申し込みが完了してから、成果条件（資料請求の到着確認や初回ログインなど）を満たすまでの期限

この二つを混同してしまう人がとても多いです。例えば「クリックから24時間以内に申し込み完了」という条件と、「申し込み完了から30日以内に条件達成」という条件が、同じ案件ページの中に別々に書かれていることがあります。片方だけ守って、もう片方を見落とすと、成果が無効になってしまいます。

例 期限を見落とした例 具体例

Aさんは「クレジットカード発行」の案件に申し込みました。カードは無事に届きましたが、成果条件には「発行後60日以内に1回以上利用すること」と書かれていました。Aさんはカードを財布にしまったまま使わずに2か月が過ぎてしまい、報酬は発生しませんでした。期限付きの条件は、カレンダーやスマホのリマインダーに書き込んでおくと安心です。

次に回数についてです。案件の中には「1世帯につき1回まで」「同一人物による複数回の申し込みは無効」といった制限があります。これは、同じ人が何度も申し込んで報酬を稼ぐことを防ぐためのルールです。セルフバックは本来「自分で体験してみる」という仕組みなので、同じサービスに繰り返し申し込むことは想定されていません。

ここで気をつけたいのが、「過去に別のポイントサイト経由で同じサービスに申し込んだことがある」場合です。A8.net経由では初めてでも、サービス提供会社側から見れば「過去に利用した人」として扱われ、対象外になることがあります。これは案件ページを見ただけでは分からないことも多いので、少しでも「前に使ったことがあるかも」と感じたら、申し込み前に広告主の案内文をよく確認してください。

また、「期間限定案件」と「回数限定案件」も区別しておきましょう。期間限定案件は、「〇月〇日まで掲載」という形で、その期間を過ぎるとページ自体がなくなります。回数限定案件は、「先着〇〇名」のように、人数の上限が決まっています。回数限定の案件は、人気が高いと数日で上限に達してしまうこともあります。

気になる案件を見つけたら、条件を確認したうえで、早めに行動する判断も必要になってきます。ただし、**焦って条件を読み飛ばすのは本末転倒です。期限や回数に追われて確認を怠ると、結局は無駄足になります**。落ち着いて、確実に条件を満たせる案件から取り組んでいきましょう。

対象外になりやすい行動

成果条件を満たしたつもりでも、無効になってしまう行動パターンがあります。ここでは、初心者が特にやってしまいがちな「対象外になりやすい行動」を具体的に紹介します。

一つ目は、広告リンクを経由せずに直接サービスのサイトへアクセスしてしまうことです。セルフバックは、A8.netのページに貼られた専用のリンクをクリックして、そこから申し込みを完了させる仕組みです。このリンクには、あなたが申し込んだことを記録するための情報が埋め込まれています。もし、検索エンジ

ンで会社名を調べて直接公式サイトにアクセスしてしまうと、この記録が残らず、成果として認識されません。「さっきA8.netの画面で見たサービスだ」と思っても、改めて広告リンクを踏み直す必要があります。

二つ目は、ブラウザの広告ブロック機能やプライバシー保護機能が働いてしまうことです。最近のスマートフォンやパソコンのブラウザには、追跡を防ぐための機能が標準で搭載されています。これが有効になっていると、成果を記録するための情報が正しく送られず、申し込みをしても反映されないことがあります。案件に申し込む前に、ブラウザの設定で拡張機能（広告ブロッカーなど）を一時的にオフにしておくと安心です。

三つ目は、途中でブラウザを閉じたり、アプリを切り替えたりしてしまうことです。広告リンクをクリックしてから申し込み完了画面が出るまでの間に、LINEの通知が来て別アプリを開いてしまった、という経験はありませんか。この「ページ移動中に別の操作を挟む」行為が、記録の途切れにつながることがあります。申し込みを始めたら、完了画面が表示されるまでは、他の操作をしないことをおすすめします。

四つ目は、クーポンサイトやポイントサイトを経由してしまうことです。買い物をするときに、少しでもお得にしようとクーポンサイトを経由する習慣がある方もいるでしょう。しかし、セルフバックの案件に申し込むときに他のサイトを経由すると、どちらの記録が優先されるか分からなくなり、成果が無効になることがあります。セルフバックに取り組むときは、他の割引サービスを使わず、A8.netの管理画面から直接申し込むことを徹底してください。

五つ目は、虚偽の情報を入力してしまうことです。これは意図的でなくても起こり得ます。例えば、住所を入力する際に番地を省略したり、電話番号の桁を間違えたりすると、広告主側で本人確認ができず、成果が無効になることがあります。入力フォームは、面倒でも一文字ずつ確認しながら入力しましょう。

！ 「条件達成後にすぐ解約」はトラブルのもと　つまずきポイント

無料体験後に自動的に有料会員へ移行するタイプの案件で、「成果が確定したらすぐに解約しよう」と考える方がいます。しかし、解約のタイミングが早すぎると、広告主側のシステムで「本当に利用したのか」を確認する前に解約されたとみなされ、成果が取り消されることがあります。解約が必要な案件は、案内されている解約可能日をしっかり確認してから手続きしてください。

これらの行動は、どれも「悪気はないけれど、結果的に対象外になってしまう」典型的なパターンです。次の章で実際に申し込みを行う前に、ここで紹介した五つのポイントを頭に入れておいてください。

条件が分からないときの確認方法

ここまで読んで、「条件は分かったけれど、自分のケースに当てはまるかどうか判断できない」と感じる場面も出てくると思います。そんなときに、自己判断で進めてしまうのは避けてください。分からないことは、必ず確認してから行動する、これがセルフバックで失敗しないための基本姿勢です。

まず、案件ページの中に「詳細はこちら」「よくある質問」といったリンクがないか探してみましょう。多くの案件には、広告主が用意した説明ページへのリンクが貼られています。ここには、成果条件の本文には書ききれなかった細かいケースが、質疑応答形式でまとめられていることがあります。

条件が不明なときに確認する手順

手順

1. 案件ページ内の「注意事項」「備考」欄をもう一度読み直す
2. 「よくある質問」や「詳細はこちら」のリンクがあれば開いて確認する
3. それでも分からない場合は、A8.netの管理画面にある問い合わせフォームから質問する
4. 回答が来るまでは、その案件には申し込まずに待つ

三つ目の「問い合わせフォームから質問する」について、具体的に説明します。A8.netの管理画面には、運営事務局への問い合わせ窓口が用意されています。ここから、「この案件の成果条件について、〇〇という理解で合っていますか」という形で質問を送ることができます。問い合わせの際は、以下の情報を含めると、回答がスムーズになります。

- 案件名（できれば案件ID）
- 確認したい条件の具体的な文章を引用する
- 自分がどのような状況にあるか（例：過去に同じサービスを利用したことがあるかどうか）

問い合わせをするのは、少し面倒に感じるかもしれません。しかし、曖昧なまま行動して成果が無効になるよりも、事前に数分確認したほうが結果的に時間の節約になります。特に、報酬額が大きい案件や、クレジットカード発行のように後から取り消しが難しい案件については、必ず事前確認をしてから申し込むようにしてください。

質問する前に自分でも検索してみる

コツ

「案件名 セルフバック 条件」といったキーワードで検索すると、実際にその案件に取り組んだ人の体験談が見つかることがあります。もちろん、個人の体験談なので条件が変わっている可能性もありますが、参考情報としては役立ちます。ただし、最終的な判断は必ず案件ページの最新の記載を優先してください。

また、問い合わせをしても、すぐに回答が来るとは限りません。回答までに数日かかることもありますので、期限が迫っている案件については、余裕を持って早めに質問を送ることが大切です。回答が来るまで申し込みを保留にしておけば、無効になるリスクを避けられます。

最後に一つ、覚えておいてほしいことがあります。それは、条件を完璧に理解してから行動する必要はない、ということです。分からない部分があれば、その部分だけをピンポイントで確認すればよいのです。最

初から案件ページのすべての文章を暗記しようとすると、それだけで疲れてしまいます。「ここだけは確認しておきたい」という部分を見極めて、効率よく確認する習慣を、この章で身につけていってください。

SUMMARY

この章のまとめ

- ✓ 成果条件は主語・動詞・条件に分解して一文ずつ正確に読む
- ✓ 期限と回数の制限は見落としやすいため事前にメモしておく
- ✓ 広告リンク経由以外の申し込みや途中操作は無効化の原因になる
- ✓ 条件が不明なときは自己判断せず問い合わせてから行動する

CHAPTER 06

6 案件に申し込み実際に行動する

前の章で、気になる案件の達成条件をしっかり読み込みましたね。「いつまでに」「何をすれば」「いくらもらえるか」が分かったら、いよいよ行動に移すところです。ここで焦って変なクリックの仕方をしてしまうと、せっかくの作業が無駄になることもあります。この章では、広告リンクのクリックから申し込み、記録の残し方、完了後の確認まで、手順をひとつずつ丁寧に見ていきます。

広告リンクをクリックする手順

まず大前提として、セルフバックの報酬は「A8.netのセルフバックページを経由してから申し込む」ことが条件になっています。この順番を間違えると、どれだけ条件を満たしても報酬は発生しません。

クリック前に確認すること

案件詳細ページを開いたら、まず画面のどこかに「セルフバックを行う」というボタンがあるはずです。これが広告リンクです。似たような名前のボタンが複数ある場合もあるので、よく見て選んでください。

! 他のタブから直接申し込まない　つまずきポイント

「このサービス、前にも見たことあるな」と思って、検索エンジンやブックマークから直接公式サイトに飛んで申し込んでしまう人がいます。これをやると、A8.netを経由した記録が残らないため、成果として認められません。必ずA8.netの案件詳細ページから「セルフバックを行う」ボタンを押して進んでください。

クリックから申し込みまでの流れ

実際の操作は、次のような流れになります。

1 案件詳細ページを開く ▶ 2 「セルフバックを行う」をクリック ▶ 3 広告主のサイトに自動で移動 ▶ 4 そのまま申し込み手続きに進む

ここで注意したいのが、ボタンをクリックした後の「待ち時間」です。回線の状況によっては、広告主のサイトに切り替わるまで数秒かかることがあります。何度もクリックし直すと、記録が重複したり、正しく反

映されなかったりする原因になるので、1回クリックしたら画面が切り替わるまで落ち着いて待ちましょう。

ブラウザの設定を事前にチェック

スマホでもパソコンでも共通して気をつけたいのが、ブラウザの「ポップアップブロック」や「Cookie（クッキー）の設定」です。Cookieというのは、サイトを訪れた記録を一時的に保存しておく仕組みのことです。この記録がないと、「A8.net経由で来た」ということを広告主側が確認できず、成果が反映されない原因になります。

- ブラウザの設定でCookieを「許可する」にしてあるか確認する
- シークレットモード（履歴を残さない閲覧モード）を使っていないか確認する
- 広告ブロック機能をオンにしていないか確認する

特にシークレットモードや広告ブロックの拡張機能は、知らないうちに成果の記録を妨げてしまうことがあります。セルフバックを行うときだけは、通常モードのブラウザで、拡張機能をオフにしてから作業する習慣をつけておくと安心です。

複数の案件を同時に開かない

もう一つ気をつけたいのが、「一度にたくさんの案件を進めたい」という気持ちです。タブをいくつも開いて、次々に「セルフバックを行う」をクリックしてしまうと、どの案件の記録がどのタブで発生したのか、A8.net側のシステムが混乱することがあります。

✓ **1案件ずつ順番に進める** コツ

慣れるまでは、1つの案件のクリックから申し込み完了までを終えてから、次の案件に進むようにしてください。案件Aの申し込みフォームを開いたまま、案件Bのリンクをクリックするようなやり方は避けましょう。急がば回れです。

申し込みフォームの入力注意

広告主のサイトに移動したら、次は申し込みフォームの入力です。ここでの入力ミスは、クリックの記録が正しくても成果が認められない原因になります。

個人情報の入力は正確に

申し込みフォームでは、氏名・住所・メールアドレス・電話番号などを入力する場面が多くあります。ここで入力ミスをすると、本人確認が取れずに成果が否認されることがあります。特に次の項目は、何度も見直してから送信ボタンを押してください。

入力項目	ありがちなミス
メールアドレス	大文字小文字の打ち間違い、ドットの抜け
郵便番号・住所	番地の入力漏れ、建物名の省略
電話番号	ハイフンの有無、桁数の間違い
生年月日	年号の選び間違い（西暦と和暦の混同）

なぜ本名・本当の情報で登録するのか

「ポイントサイトだから」と軽く考えて、適当な情報を入力してしまう人がいますが、これは避けてください。セルフバックは実際に広告主のサービスに申し込む行為です。資料請求であれば本当に資料が届きますし、口座開設であれば本当に口座が作られます。架空の情報を入れると、審査に通らなかったり、後から本人確認ができずトラブルになったりします。

虚偽の情報を入力すると、成果の否認だけでなく、広告主との間でトラブルになることもあります。必ず正確な自分の情報を入力してください。

A8.net会員登録時の情報と一致させる

第1章で登録したA8.netの会員情報と、申し込みフォームに入力する情報が大きくズレていると、確認作業で時間がかかることがあります。特にメールアドレスは、A8.netに登録したものと同じものを使うと、後々の管理がしやすくなります。

二重送信に注意する

申し込みフォームの「送信する」ボタンを押した後、画面の読み込みに数秒かかることがあります。ここで「反応がないな」と思って、もう一度ボタンを押してしまう人がいますが、これは避けてください。二重に申し込みデータが送られてしまい、広告主側の処理が混乱する原因になります。

! 送信後はブラウザの「戻る」を使わない　つまずきポイント

フォーム送信後に表示される完了画面を見て、「あれ、別のページに行きたいな」とブラウザの「戻る」ボタンを押す人がいます。これをやると、もう一度同じ内容が送信されてしまうことがあります。完了画面が表示されたら、そのページの指示に従って次に進んでください。

メールマガジンやオプションのチェック欄

申し込みフォームの下の方に、「メールマガジンを受け取る」「他のサービスの案内を希望する」といったチェック欄が用意されていることがあります。これは成果条件とは関係ない場合がほとんどですが、案件によっては「このチェックを入れることが条件」になっていることもあります。第5章で確認した成果条件をもう一度思い出しながら、必要なチェックは入れ、不要なものは外す、という作業を落ち着いて行ってください。

条件達成の記録を残す方法

申し込みが完了したら、「よし、終わった」とすぐにブラウザを閉じてしまいたくなりますが、ここで一手間かけておくことが、後々のトラブルを防ぐ鍵になります。

なぜ記録を残す必要があるのか

セルフバックの成果は、広告主側のシステムとA8.net側のシステムが連携して自動的に判定されます。ただし、この連携がうまくいかず、「確かに申し込んだのに反映されない」ということが起こることもあります。そのときに、自分が確かに申し込みを行ったという証拠を手元に残しておくことが、問い合わせの際に役立ちます。

記録しておくべき項目

次の5つは、最低限メモしておきたい項目です。

- 申し込んだ日時（年月日・時刻まで）
- 案件名とA8.netの管理画面上での表示名
- 申し込みに使ったメールアドレス
- 想定される報酬金額
- 成果条件の内容（例:口座開設完了、資料到着後など）

これらをメモ帳アプリや、スプレッドシート（表計算ができるアプリ）にまとめておくと、後から見返しやすくなります。紙のノートでももちろん構いません。大切なのは、「後から自分で確認できる形」にしてお

くことです。

画面のスクリーンショットを撮る

✓ 申し込み完了画面はスクリーンショットで保存 コツ

申し込みフォームを送信した後に表示される「お申し込みありがとうございました」といった完了画面は、スクリーンショット（画面の写真）で保存しておくことをおすすめします。スマホなら電源ボタンと音量ボタンを同時に押す、パソコンならPrintScreenキーを使うなど、機種によって操作が異なるので、お使いの端末の操作方法を確認しておいてください。

このスクリーンショットがあれば、「いつ、どの案件に申し込んだか」という客観的な証拠になります。万が一、成果が反映されずに広告主やA8.netに問い合わせる場面になったときも、この画像があるとやり取りがスムーズに進みます。

案件によっては別の記録も必要

案件の種類によっては、申し込み完了画面以外にも残しておくべき記録があります。

例 クレジットカード発行案件の場合 具体例

クレジットカードの発行が条件の案件では、カードが実際に届いたときの封筒や、カード会社から送られてくる「発行完了」のメールも保存しておきましょう。カードが届くまでに2〜4週間ほどかかることもあるため、申し込みから到着までの期間が空いても慌てないように、申し込み日をメモしておくことが大切です。

例 資料請求案件の場合 具体例

資料請求では、実際に自宅に資料が届くことが条件になっていることが多いです。資料が届いた日もメモしておくと、「申し込んでから何日で届いたか」が分かり、条件を満たしたタイミングを把握しやすくなります。

記録をいつまで残すか

これらの記録は、報酬が確定して振り込まれるまで、少なくとも2〜3か月は手元に残しておくことをおすすめします。成果の反映には、早い案件で数日、遅い案件では1〜2か月かかることもあるためです。慌てて削除してしまうと、問い合わせの際に困ることになります。

完了後ã ü るñ Å 確認作業

申し込みと記録の保存が終わったら、最後にもう一つ、やっておきたい確認作業があります。これを済ませておくことで、次の章で扱う「成果の反映確認」がスムーズに進みます。

A8.netの管理画面に成果が表示されているか☒認する

申し込みが完了したら、まずA8.netの管理画面にログインし直して、「成果報告」や「お知らせ」といった項目に、今回申し込んだ案件の情報が表示されているかを確認してください。多くの場合、申し込み直後からすぐに表示されるわけではなく、数時間から数日かけて反映されることが一般的です。すぐに表示されなくても、焦る必要はありません。

☒認のタイミングを決めておく

毎日何度も管理画面を見に行っても、反映スピードが早まるわけではありません。かえって「反映されない、おかしいな」と不安になってしまう原因にもなります。

チェックする頻度を決めておく ここが要点

申し込み直後は1回、3日後に1回、1週間後に1回、というように、確認するタイミングをあらかじめ決めておくと、気持ちが安定します。カレンダーアプリやスマホのリマインダー機能を使って、「◯月◯日にA8.netを確認する」と予定を入れておくのもおすすめです。

メールの受信設定を見直す

広告主やA8.netからの連絡が、メールの迷惑フォルダに振り分けられてしまうことがあります。申し込み直後に、次のことを確認しておきましょう。

- A8.netからのメールが迷惑メールフォルダに入っていないか確認する
- 広告主からのメールを受信できる設定になっているか確認する
- 申し込みに使ったメールアドレスに間違いがなかったか、送信済みメールで再確認する

特に、フリーメール（無料で使えるメールサービス）を使っている場合、セキュリティ設定によって自動的に受信拒否されてしまうことがあります。心配な場合は、A8.netや広告主のドメイン（メールアドレスの@以降の部分）を受信許可リストに追加しておくと安心です。

二重申し込みをしていないか見直す

複数の案件を同じ日に進めていた場合、同じサービスに似た内容で二重に申し込んでしまっていないか、一度見直しておきましょう。例えば、同じジャンルのクレジットカード案件を2つ同時に進めていて、気づかないうちに同じカード会社に2回申し込んでいた、というケースも起こり得ます。これは成果の否認につながるだけでなく、広告主側の審査にも影響することがあるため、注意が必要です。

次にやることを書き出しておく

最後に、「この案件は、あと何をすれば条件達成になるのか」を、もう一度自分の言葉でメモしておくことをおすすめします。例えば次のような形です。

例 **条件達成までのメモの例** 具体例

- 案件名:〇〇銀行口座開設
- 申し込み日:4月10日
- 条件:口座開設完了+10,000円以上の入金
- 次にやること:口座が届いたら、4月中に10,000円を入金する
- 期限:5月末まで

このように、申し込んで終わりではなく「次に自分が取るべき行動」まで書き出しておくことで、条件を満たし忘れるリスクを減らせます。せっかく申し込んだのに、入金し忘れて成果が無効になってしまった、という話は実際によくあります。申し込みはスタート地点に過ぎない、ということを忘れないでください。

SUMMARY この章のまとめ

- ✓ セルフバックは必ずA8.net経由のリンクから申し込む
- ✓ 申し込みフォームには正確な本当の情報を入力する
- ✓ 申し込み日時とスクリーンショットを必ず記録に残す
- ✓ 申し込み後は次にやるべき行動までメモしておく

CHAPTER 07

7

成果の反映と承認を確認する

案件に申し込んで、条件になっている行動も終えた。あとは成果が反映されるのを待つだけですよね。でも、ここで「いつ反映されるの？」「本当にお金がもらえるの？」と不安になる人がとても多いんです。この章では、管理画面の数字の見方と、承認されないときの対処法を一緒に確認していきます。

成果が反映されるタイミング

セルフバックの申し込みが終わったら、すぐに管理画面を開いて確認したくなりますよね。でも、申し込んだ直後に数字が出てこなくても焦らなくて大丈夫です。

成果が管理画面に反映されるまでには、ある程度の時間がかかります。これは、A8.netのシステムが自動で処理しているわけではなく、広告主（商品やサービスを提供している企業）がそれぞれ成果を確認してからA8.netに報告する、という流れになっているからです。

反映までの時間は案件によってかなり差があります。

案件のタイプ	反映までの目安
無料会員登録系	即日〜3日程度
クレジットカード発行	1週間〜1ヶ月程度
商品購入・資料請求	数日〜2週間程度
口座開設・投資口座系	2週間〜1ヶ月以上

この表はあくまで目安です。案件ページの中に「成果反映まで◯日」といった記載がある場合は、そちらを優先して確認してください。

反映前にできること

ここが要点

成果が反映される前の段階では、焦って何度も同じ案件に申し込み直したりしないことが大切です。二重申し込みは条件違反とみなされ、せっかくの成果が無効になることがあります。

反映のタイミングを知らないまま「2日経ってもポイントが入らない、失敗したのでは」と不安になり、サポートに問い合わせるケースもよくあります。でも、クレジットカードの発行や口座開設のような審査があ

る案件は、そもそも広告主側の審査自体に時間がかかっています。申し込み直後ではなく、案件ページに書かれている目安期間を過ぎてから確認するようにしましょう。

また、管理画面には「成果承認待ち件数」のような表示がある場所があります。ここに申し込んだ案件の件数が表示されていれば、少なくとも申し込み自体は正常に記録されているという証拠になります。数字がゼロのままだったり、件数が増えていなかったりする場合は、申し込みの手順自体に問題があった可能性も考えられます。

- 申し込み直後は管理画面の「成果承認待ち」の件数を確認する
- 案件ページに書かれている反映目安の日数をメモしておく
- 目安日数を過ぎても反映がない場合だけ、次の節を参考に確認する

申し込んだその日に結果が出ないからといって、すぐに失敗と決めつけないでくださいね。多くの場合は、ただ待っている段階にいるだけです。

未確定と確定の違い

管理画面を開くと、成果の状況がいくつかの段階に分かれて表示されていることに気づくと思います。この段階の違いを理解していないと、「反映されたのにお金が増えない」と誤解してしまうことがあります。

まず押さえておきたいのが、「未確定」と「確定」はまったく違う状態だということです。

未確定というのは、広告主からA8.netに「この人が条件を満たしたようです」という一次報告が届いた状態です。この段階では、まだ正式な承認が済んでいません。言ってみれば、審査中の状態です。

一方、確定は、広告主がその成果内容を最終的にチェックして「間違いなく条件を満たしている」と認めた状態です。この確定を経てはじめて、報酬として引き出せる対象になります。

例 **こんな勘違いに注意** 具体例

Aさんは無料会員登録の案件に申し込み、3日後に管理画面を見たところ「未確定2,000円」という表示を見つけました。Aさんは「やった、2,000円もらえた」と思い込み、友人にもその金額を伝えてしまいました。でも実際には、その後の審査で条件を満たしていないと判断され、金額がゼロになってしまったのです。

このように、未確定の数字はあくまで仮の金額であり、確定するまでは実際に受け取れる金額ではありません。家計簿やお小遣い帳に書き込むのは、確定してからにしておくと安心です。

未確定から確定に変わるまでの期間も、案件によって差があります。無料登録系なら数日で確定することもありますが、クレジットカードや投資口座のように審査が複雑な案件では、確定まで1ヶ月以上かかることも珍しくありません。

また、確定した成果についても、すぐに振込申請ができるわけではありません。確定した報酬が管理画面上の「確定報酬」としてまとめられ、一定の金額に達した段階で振込の手続きに進める、という流れになっています。この振込の具体的な手順については、次の章で詳しく説明します。

ここで大事なのは、「未確定」「確定」という2つの言葉の意味を取り違えないことです。管理画面のどこにその表示があるのか、一度自分の目で確認しておきましょう。

- 管理画面にある「未確定」の表示を見つける
- 同じ画面にある「確定」の表示を見つける
- 自分が申し込んだ案件が今どちらの状態かを確認する

未確定の段階ではまだ気を抜かず、確定の連絡が来るまで、申し込み時の画面キャプチャやメールなど、条件を達成した証拠を残しておくことをおすすめします。この証拠が、後の節で説明する「承認されないとき」の対応で役立ちます。

承認されないときの原因

せっかく条件を満たしたつもりでも、成果が承認されずに金額がゼロになってしまうことがあります。ショックを受ける人も多いのですが、原因を知っておけば、次の案件で同じ失敗を避けられます。

よくある原因をいくつか見ていきましょう。

条件を満たしていなかった

一番多いのが、そもそも条件を完全には満たせていなかったというケースです。例えば「登録後にアンケートに回答する」という条件があったのに、会員登録だけで終えてしまっていた、というようなことがあります。第5章で触れたとおり、条件は一文一文丁寧に読む必要がありますが、それでも見落としは起こります。

申し込み経路が正しくなかった

A8.netの広告リンクを経由せずに、直接検索して広告主のサイトにアクセスしてしまうと、成果が記録されません。一度A8.netのページを閉じてから「やっぱりこのサービスに登録しよう」と別タブで検索し直す、というのはよくある失敗パターンです。必ずA8.netの管理画面にあるリンクから入り直すようにしてください。

既存会員だった

「新規」が条件になっている案件で、実は過去に同じサービスを利用したことがあった、というケースもあります。本人が忘れていても、サービス側のデータには登録履歴が残っていることがあります。

ブラウザの設定が影響していた

Cookie（閲覧情報を一時的に保存する仕組み）を削除するアプリや、広告ブロック機能を使っていると、A8.netを経由した申し込みだという情報がうまく伝わらないことがあります。

! こんな環境は要注意 つまずきポイント

スマートフォンの「プライベートブラウズ」モードや、広告ブロック系のアプリを使っていると、成果が正しく記録されない可能性があります。セルフバックに取り組むときは、通常モードのブラウザを使いましょう。

これらの原因は、申し込みの前に気をつけていれば防げるものがほとんどです。もし承認されなかった場合は、「自分のどの行動が条件に当てはまっていなかったのか」を振り返ってみてください。

ただし、自分では条件を満たしているように思えるのに、どうしても承認されない場合もあります。その場合は、思い込みで諦めてしまう前に、次の節で紹介する問い合わせを活用してみましょう。

- 広告リンクはA8.netの管理画面から直接クリックしたか
- アンケートや追加入力など、登録後に必要な作業を忘れていないか
- 過去に同じサービスを利用した記録がないか思い出してみる
- ブラウザの設定（プライベートモードや広告ブロック）を確認したか

問い合わせ窓口の使い方

条件を満たしたはずなのに成果が承認されない。そんなときは、一人で抱え込まずに問い合わせ窓口を使うことを考えてみてください。問い合わせは決して特別なことではなく、多くの利用者が実際に使っている仕組みです。

どこから問い合わせるか

A8.netの管理画面には、サポートに連絡するための窓口が用意されています。トップページやメニューの中にある「お問い合わせ」「よくある質問」といった項目から進むことができます。まずは「よくある質問」のページを一度確認してみると、同じような疑問を持った人の答えが見つかることもあります。

問い合わせる前に準備しておくもの

いきなり問い合わせ窓口に連絡しても、情報が足りないと回答までに時間がかかってしまいます。事前に次のような情報を手元に用意しておきましょう。

- 申し込んだ案件の名前
- 申し込んだ日時
- 条件を達成した日時（登録完了画面のキャプチャなど）
- 管理画面に表示されている現在のステータス

> ✓ **証拠はスクリーンショットで残す** コツ
>
> 申し込み完了画面や、条件達成を示す画面（購入完了メール、会員登録完了画面など）は、その場でスクリーンショットを撮って保存しておく習慣をつけましょう。後から「あのとき確かにやった」と説明するための大事な証拠になります。

問い合わせの流れ

実際に問い合わせる際の大まかな流れは、次のようになります。

1 該当案件の情報を整理する ▶ 2 問い合わせフォームに入力する ▶ 3 返信を待つ ▶ 4 必要なら追加情報を送る

返信までの期間は、内容や時期によって差がありますが、数日から1〜2週間程度かかることもあります。すぐに返事が来なくても、催促のメッセージを何度も送るのではなく、落ち着いて待つようにしてください。

問い合わせても解決しないこともある

残念ながら、問い合わせても「広告主側の判断により承認できません」という回答が返ってくることもあります。A8.netは広告主と利用者をつなぐ立場であり、最終的な承認・非承認の判断は広告主が行っています。**A8.netに問い合わせたからといって、必ず承認に覆るわけではない、ということは理解しておいてください。**

とはいえ、問い合わせをしたことで、入力ミスなど自分では気づかなかった原因が判明することもあります。次の案件に活かすためにも、疑問に思ったことはそのままにせず、窓口を活用する習慣をつけておきましょう。

- 「よくある質問」ページで似たケースがないか先に調べる
- 案件名・申し込み日時・証拠のスクリーンショットを準備する

- 問い合わせフォームから必要事項を入力して送信する
- 返信が来るまで、焦らず数日〜1週間程度は待つ

SUMMARY

この章のまとめ

- ✓ 成果反映は案件により数日〜1ヶ月以上かかることがある
- ✓ 未確定は仮の数字、確定して初めて報酬として扱える
- ✓ 承認されない主な原因は条件未達と申し込み経路のミス
- ✓ 疑問があれば証拠を揃えて問い合わせ窓口に相談する

CHAPTER 08

確定した報酬を口座に振り込む

8

成果が承認されて、管理画面に確定報酬の金額が表示された。そこまで来たら、あとは自分の銀行口座にお金を移すだけです。ですが、この「振込」のところで意外とつまずく人が多いんです。条件を知らずに待ち続けたり、口座登録を間違えたり。この章では、確定した報酬を実際に手元に届けるまでの手順を、数字つきで具体的に見ていきます。

報酬の振込条件を確認する

A8.netでは、成果が承認されただけでは、まだお金は振り込まれません。確定した報酬が一定の金額に達して、はじめて振込の対象になるという仕組みを知っておいてください。

この「一定の金額」のことを振込下限額と呼びます。A8.netの場合、この下限額は1,000円です。つまり、確定報酬の合計が1,000円に届いていないと、振込申請そのものができません。

「じゃあ、999円のときはどうなるの？」と思いますよね。その場合は、次の案件で成果を積み上げて、1,000円を超えるのを待つことになります。繰り越しになるだけなので、報酬が消えてしまう心配はありません。ここは安心してください。

ただし、一定期間まったく成果が発生しない状態が続くと、口座管理手数料のような名目で少額が差し引かれる場合があります。これはA8.netに限った話ではなく、ASP（広告主と提携先をつなぐ仲介サービスのことです）業界全体でよくある仕組みです。詳しい条件は規約ページに書かれているので、セルフバックを始めたタイミングで一度目を通しておくと安心です。

振込条件を確認する際のチェックポイント

- 確定報酬の合計が1,000円を超えているか
- 振込口座がまだ登録されていないままになっていないか
- 長期間ログインしていない状態が続いていないか

確定と振込は別の手続き　ここが要点

成果が「確定」になっても、お金は自動では振り込まれません。振込は、読者自身が申請して初めて実行されるという点を覚えておいてください。放っておいても銀行口座にお金が流れてくるわけではないんです。

また、振込条件には金額以外にも細かい決まりがあります。例えば、口座情報の登録に不備があると、金額条件を満たしていても申請がエラーになります。次の節で、この口座登録の手順を丁寧に見ていきましょう。

A8.netでは年に数回、振込手数料が一時的に優遇されるキャンペーンが実施されることもあります。こうした情報は管理画面のお知らせ欄に掲示されるので、報酬が貯まってきたら一度チェックしてみてください。急いで申請せず、タイミングを見て手続きするのも一つの考え方です。

振込口座の登録手順

振込条件を確認したら、次は実際に口座情報を登録していきます。ここでの入力ミスは、振込の遅れに直結するので、落ち着いて一つずつ進めてください。

登録の流れ

1. 管理画面にログインする
2. 画面上部または左側のメニューから「口座情報」や「登録情報の変更」といった項目を探す
3. 金融機関名を選択する
4. 支店名を選択する
5. 口座種別（普通・当座）を選ぶ
6. 口座番号を入力する
7. 口座名義をカタカナで入力する
8. 入力内容を確認し、登録ボタンを押す

ここで特に注意してほしいのが、口座名義の入力です。銀行口座の名義は、通帳やキャッシュカードに印字されている通りのカタカナで入力する必要があります。例えば「山田太郎」さんなら「ヤマダ タロウ」と入力しますが、このとき姓と名の間のスペースの有無や、半角・全角の違いでエラーになることがあります。

! 名義のズレで振込が止まる　つまずきポイント

口座名義の入力が実際の通帳と1文字でも違うと、振込が実行されずに差し戻しになることがあります。結婚などで名字が変わった場合、旧姓のままの口座を登録してしまうミスもよくあります。登録前に、通帳やネットバンキングの画面で正式な名義を確認する習慣をつけてください。

また、支店名の選び方にも注意が必要です。ゆうちょ銀行を利用する場合、他の銀行とは入力方法が異なり、「記号」と「番号」を使った登録になります。ゆうちょ銀行を使う予定の人は、事前に自分の通帳の記

号と番号を手元に用意しておくとスムーズです。

よくある入力ミスの例

ミスの内容	起きる結果
名義のスペース漏れ	振込エラーで差し戻し
支店名の選び間違い	口座が特定できずエラー
口座番号の桁数誤り	登録自体ができない

登録が完了すると、確認のメールが届くことが多いです。このメールが来ない場合は、入力の途中で何か不備があった可能性があるので、もう一度管理画面を開いて状態を確認してください。

一度登録した口座情報は、変更することもできます。引っ越しや銀行の統合などで口座が使えなくなった場合は、早めに新しい情報に更新しておきましょう。放置したまま振込申請をすると、存在しない口座への振込エラーになり、手続きがやり直しになってしまいます。

振込申請の実際の操作

口座登録が済んだら、いよいよ振込の申請です。この操作自体は難しくありません。ただ、申請のタイミングや画面の表示を見落とすと、「申請したつもりができていなかった」ということが起こります。

申請の手順

1. 管理画面にログインする
2. 「報酬振込申請」や「お支払い申請」といったメニューを開く
3. 確定報酬の金額が表示されていることを確認する
4. 登録済みの口座情報が正しいか再確認する
5. 「振込申請する」のボタンを押す
6. 申請完了の画面が表示されることを確認する

ここで大事なのは、申請完了の画面まで必ず進むことです。途中で「戻る」ボタンを押したり、通信の都合で画面が止まったりすると、申請が反映されていない場合があります。申請後は、管理画面の「申請済み」や「処理中」といったステータスが表示されているかを、履歴ページで確認してください。

例 **申請したつもりが届いていなかった** 具体例

ある読者は、スマートフォンで申請操作をしていたところ、通信が不安定になり、申請ボタンを押した直後に画面が固まってしまいました。数日待っても振込がなかったため管理画面を確認すると、申請自体が記録されていませんでした。もう一度最初から申請し直したところ、問題なく処理されたそうです。申請後は必ず完了画面と履歴を確認することが大切だとわかる例です。

申請前に見ておきたい項目

- 確定報酬額が1,000円を超えているか
- 口座情報に変更がないか
- 申請可能な締め日を過ぎていないか

A8.netには、振込申請を受け付ける締め日があります。この締め日を過ぎてから申請すると、処理が翌月に回ってしまうことがあります。急いで出金したい場合は、月のどのタイミングが締め日になっているか、管理画面のヘルプページで確認しておくと安心です。

また、申請は自動で繰り返されるものではありません。毎回、読者自身が手動で「申請する」という操作をする必要があります。ここを勘違いして、「前に設定したから自動で振り込まれるはず」と思い込んでいると、報酬が貯まったままずっと口座に届かない、という状態になりかねません。定期的に管理画面を開いて、確定報酬がたまっていないか確認する習慣をつけてください。

申請後にキャンセルができるかどうかも、念のため知っておくとよいでしょう。基本的には、一度申請した内容は取り消せないことが多いです。口座情報に誤りがあると気づいた場合は、申請前に必ず修正してから手続きを進めてください。

振込予定日と手数料の目安

申請が終わったら、あとは振込を待つだけです。ここでは、だいたいどのくらいの期間がかかるのか、そして手数料がどの程度発生するのかを具体的に見ていきます。

A8.netの場合、振込申請を行った月の翌々月の15日前後に振込が実行されるのが一般的な目安です。例えば、4月中に申請をすると、6月15日前後に銀行口座へ入金される、という流れです。この期間の長さに驚く人も多いのですが、これはASP業界全体に共通する特徴で、A8.net固有の遅さというわけではありません。

振込スケジュールのイメージ



✓ 気長に構えておくとストレスが減る コツ

振込までの期間を知らずにいると、「申請したのに全然振り込まれない」と不安になってしまいます。あらかじめ翌々月になる場合があると理解しておくだけで、気持ちの余裕がかなり変わります。カレンダーアプリに振込予定日をメモしておくのもおすすめです。

次に手数料についてです。A8.netでは、振込の際に手数料が差し引かれる場合があります。手数料の金額は、振込先の金融機関によって変わることが多く、数百円程度が目安になることが一般的です。この手数料は、報酬額から自動的に差し引かれた金額が入金される形になります。

例えば、確定報酬が3,000円で、手数料が仮に500円前後だったとすると、実際に口座に入ってくる金額はそれよりも少なくなります。**手数料の存在を知らずにいると、「振り込まれた金額が思っていたより少ない」と戸惑うことになるので、事前に手数料の目安を確認しておいてください。**

手数料を抑えるための考え方

- 同じ金融機関にまとめて振込申請するほうが有利になる場合がある
- 一部の金融機関では手数料が優遇されることがある
- 細かい金額で何度も申請するより、ある程度まとめてから申請するほうが手数料の影響を減らせる

ただし、無理に報酬をためすぎて申請を先延ばしにする必要はありません。あくまで目安として考え、自分のペースで申請していけば大丈夫です。

! 振込予定日はあくまで目安 つまずきポイント

システムメンテナンスや金融機関側の処理状況によって、振込予定日が数日前後することがあります。予定日を1日過ぎたからといって、すぐに問い合わせる必要はありません。1週間程度様子を見ても入金が確認できない場合に、お問い合わせ窓口を利用するとよいでしょう。

振込が完了すると、管理画面の履歴にも「振込済み」といった表示が反映されます。この履歴は、あとで収支を振り返るときにも役立つので、スクリーンショットなどで記録に残しておく習慣をつけておくと、次の章で扱う記録づけにもつながっていきます。

SUMMARY

この章のまとめ

- ✓ 確定報酬が1,000円以上にならないと振込申請はできない
- ✓ 口座名義はカタカナで通帳通りに一文字も違わず登録する
- ✓ 振込申請は手動操作で、完了画面と履歴の確認が欠かせない
- ✓ 入金は翌々月15日前後が目安で、手数料が差し引かれる

CHAPTER 09

税金の基本を知り記録をつける

9

銀行口座に振込があった瞬間、「これって税金かかるの？」という疑問が浮かんだ方も多いはずです。セルフバックの報酬は、れっきとした収入として扱われます。この章では、所得として扱われる理由から、申告が必要になる目安、日々の記録のつけ方、専門家に相談すべき場面まで、お金の不安を減らすための基礎知識を一つずつ整理していきます。

所得として扱われる理由

セルフバックで口座に振り込まれたお金を見て、「これはポイ活のポイントみたいなものだから、税金とは関係ないよね」と思う方がいます。ですが、ここは注意が必要です。

セルフバックの報酬は、税法上「所得」として扱われます。ポイントのまま使う場合とは違い、A8.netのセルフバックは最終的に現金として銀行口座に振り込まれますよね。現金として受け取った時点で、それは収入の一部とみなされるのです。

なぜ「所得」になるのか

難しく考える必要はありません。考え方はシンプルです。

- 広告主から対価として支払われたお金である
- 労働の対価ではないが、経済的な利益を得ている
- 現金（銀行振込）という形で実際に受け取っている

この3つがそろうと、税金の世界では「所得が発生した」と判断されます。アルバイトの給料とは性質が違いますが、お小遣いをもらったのとも違う、という点を押さえておいてください。

所得の種類という考え方

所得にはいくつかの種類があり、給与としてもらうお金は「給与所得」、副業的な収入の多くは「雑所得」や「事業所得」に分類されます。セルフバックの報酬は、多くの場合「雑所得」に該当すると考えられています。

ここで大事なのは、「種類の名前を覚えること」ではありません。覚えてほしいのは、「現金として受け取った以上、記録を残しておく必要がある」という事実だけです。名前の分類は、実際に申告する段階で調べたり、専門家に確認したりすれば十分です。

覚えておきたいポイント ここが要点

セルフバックの報酬は「もらって終わり」ではありません。受け取った金額・日付を、自分のメモや家計簿に記録しておく習慣をこの時点から始めてください。あとで慌てて思い出そうとしても、正確な金額は再現できないことが多いです。

「稼いだ」という感覚とのズレ

セルフバックは、商品を買ったりサービスに申し込んだりすることで成立する仕組みでしたよね。無料案件であれば自己負担なく報酬だけを得られるケースもあります。この「負担なく得た」という感覚のせいで、「税金とは無縁」と誤解しやすいのです。

しかし税務上は、どうやって得たお金かよりも、「経済的な利益を得たかどうか」が基準になります。**無料案件で得た報酬であっても、所得として扱われる点は変わりません。**この前提を最初に押さえておくことで、次の節以降の話がスムーズに理解できるようになります。

申告が必要になる目安

「所得になるのはわかった。でも、実際に申告しないといけないのはどんな場合？」という疑問に進みましょう。ここは多くの初心者がいちばん気にするポイントです。

まず知っておきたい「給与以外の所得20万円ルール」

会社員などで給与を受け取っている方の場合、給与以外の所得（副業の所得など）が年間20万円を超えると、原則として確定申告が必要になる、という目安がよく知られています。

ここでいう「所得」とは、受け取った報酬の合計額そのものではありません。セルフバックの場合、案件によっては交通費や手数料など、わずかな自己負担が発生することもあります。こうした必要経費を差し引いた後の金額が「所得」にあたります。

- セルフバック報酬の合計（収入）
- そこから差し引ける経費（あれば）
- 残った金額が「所得」

この所得の部分が20万円を超えるかどうかが、一つの目安になります。

! 20万円ルールには例外がある　つまずきポイント

この20万円という基準は、あくまで「所得税の確定申告」に関する目安です。住民税については、金額にかかわらず申告が必要になる場合があります。**「20万円以下だから何もしなくていい」と思い込むのは危険です。**お住まいの市区町村の窓口やホームページで、住民税の申告ルールを確認しておくことをおすすめします。

学生や専業主婦（主夫）の場合はどうなるか

会社員ではなく、学生や専業主婦（主夫）でご自身に給与所得がない方の場合、少し基準が変わります。この場合は、所得全体が基礎控除額（多くの場合48万円）を超えるかどうかが一つの判断材料になります。

ただし、扶養に入っている方の場合は、扶養から外れてしまう所得の基準（いわゆる「年収の壁」）にも関わってくるため、単純に20万円や48万円という数字だけでは判断しきれない場面があります。

「目安」であって「断定」ではない

ここまで数字を挙げてきましたが、これらはあくまで一般的な目安です。ご自身の家族構成、他の所得の有無、お住まいの自治体のルールによって、実際の判断は変わってきます。**具体的な申告の要否については、税務署や税理士など専門家に確認することを強くおすすめします。**

例 こんな場面で判断に迷う　具体例

会社員のAさんは、副業としてセルフバックに月に数回取り組み、年間で15,000円ほどの報酬を得ました。この金額だけを見ると20万円には届きませんが、Aさんは他にも別の副業で副収入を得ていました。この場合、セルフバックの報酬単体ではなく、副業全体の所得を合算して20万円を超えるかどうかを判断する必要があります。一つの収入源だけで判断しないよう注意してください。

目安の数字を知ることは大切ですが、「自分は申告が必要なのか、不要なのか」を正確に判断するには、次の節で説明する記録が欠かせません。記録がなければ、そもそも所得の金額を計算することすらできないからです。

収支を記録する簡単な方法

申告が必要かどうかを判断するにも、実際に申告するにも、日々の収支を記録しておくことが土台になります。難しい会計ソフトを使う必要はありません。初心者でも今日から始められる、シンプルな方法を紹介し

ます。

記録すべき4つの項目

セルフバックの記録として、最低限残しておきたい項目は次の4つです。

項目	内容の例
日付	案件に申し込んだ日、報酬が確定した日
案件名	どのサービス・商品のセルフバックか
金額	発生した報酬額（確定前は見込み額）
状況	申込み済み・成果確定・振込済みなど

この4項目があれば、あとから「いつ、何で、いくら稼いだか」をすぐに振り返ることができます。

おすすめはスプレッドシートか家計簿アプリ

記録の方法として、次のような選択肢があります。

- 無料で使えるスプレッドシート（Googleスプレッドシートなど）
- スマートフォンの家計簿アプリ
- 紙のノートやメモ帳

どれを選んでも構いませんが、「あとから見返しやすいこと」を基準に選ぶのがコツです。スプレッドシートであれば、日付順に並び替えたり、月ごとの合計を自動で計算させたりできるので、記録が増えてきたときに扱いやすくなります。

記録を始める3ステップ

手順

1. 案件に申し込んだタイミングで、日付・案件名・見込み金額をメモする
2. 第7章で確認した「成果確定」のタイミングで、金額を確定額に修正する
3. 第8章で振込があったタイミングで、状況欄を「振込済み」に更新する

この3ステップを徹底すると、「申し込んだのに記録を忘れていた」「振込があったのにどの案件か分からなくなった」という事態を防げます。

自己負担があった案件はレシートも保管

セルフバックの中には、商品購入やサービス申込みの際にわずかな自己負担が発生する案件もあります。こうした支出が経費として認められる可能性がある場合に備えて、レシートや領収書、購入確認メールは必ず保管しておいてください。

紙のレシートは色あせて読めなくなることがあるので、スマートフォンで撮影してデータとして残しておくと安心です。フォルダを一つ作り、「セルフバック関連」としてまとめておくと、あとで見返すときに迷いません。

> ✓ **月末に5分だけ見直す習慣** コツ
>
> 毎日細かく記録するのが面倒に感じる方は、月末の決まった日に5分だけ時間を取り、その月に申し込んだ案件と振込状況をまとめて確認する方法もあります。完璧な記録よりも、「続けられる記録」のほうが、結果的に正確な情報を残せます。

記録をつける習慣は、税金の申告のためだけではありません。自分がどの案件でどれくらいの成果を得られているかを振り返る材料にもなります。次の案件選びにも活きてくる情報なので、面倒に感じても続ける価値があります。

専門家に相談すべき場面

ここまで、所得の考え方や申告の目安、記録方法について説明してきました。ですが、税金のルールは一人ひとりの状況によって細かく変わるため、本書の説明だけですべてを判断するのは危険です。**最終的な判断は、税務署や税理士といった専門家に相談することをおすすめします。**

相談したほうがよい具体的な場面

次のような場面に当てはまったら、自己判断で済ませずに専門家へ相談する目安にしてください。

- セルフバックを含めた副業全体の所得が20万円に近づいてきたとき
- 本業以外にも複数の副収入があり、合計額の計算が複雑になってきたとき
- 扶養に入っていて、扶養の基準となる年収の壁が気になり始めたとき
- 確定申告の書類の書き方そのものが分からないとき
- 過去の年度分について、申告していなかったことに気づいたとき

特に最後の「過去の申告漏れに気づいたとき」は、多くの方が不安になるところです。**放置すると延滞税などが発生する可能性があるため、気づいた時点で早めに税務署へ相談することをおすすめします。**早め

に相談すれば、落ち着いて対応方法を案内してもらえます。

どこに相談すればよいか

専門家といっても、相談先はいくつかあります。

- 最寄りの税務署（無料で相談できる窓口がある）
- 税理士（有料だが、個別の状況に合わせた助言が受けられる）
- 自治体が開催する無料税務相談会（確定申告の時期に増える）

まずは費用のかからない税務署や自治体の相談会を利用してみて、継続的に副業を行っていく中で相談したい内容が複雑になってきたら、税理士への依頼を検討する、という流れが現実的です。

例 相談して安心できた例 具体例

副業でセルフバックとアンケートモニターの両方に取り組んでいたBさんは、年間の所得が20万円を超えそうなことに気づき、確定申告の時期に税務署の無料相談窓口を利用しました。記録していたスプレッドシートを見せながら相談したところ、担当者から「その記録があれば申告書の作成はスムーズに進みます」と言われ、思ったよりも短時間で手続きを終えられたそうです。

このように、日頃から記録をつけておくことが、専門家に相談する際にもそのまま役立ちます。「記録を見せるだけで話が早く進んだ」という声は少なくありません。面倒に思える記録作業も、いざというときの安心材料になります。

本書はあくまで入り口

この章で紹介した内容は、税金の仕組みを理解するための入り口にすぎません。実際の申告が必要かどうか、どの区分に当たるかといった個別の判断は、その時々の制度や個人の状況によって変わります。「だいたいこういう仕組みなんだな」という全体像をつかんだ上で、実際に動くべきタイミングが来たら、必ず専門家の判断を仰ぐようにしてください。

SUMMARY この章のまとめ

- ✓ セルフバックの報酬は現金として受け取った時点で所得にあたる
- ✓ 所得20万円は一つの目安だが住民税のルールは別に確認が必要
- ✓ 日付・案件名・金額・状況の4項目を記録する習慣が土台になる
- ✓ 判断に迷ったら税務署や税理士など専門家に早めに相談する

CHAPTER 10

次の案件へ安心して進む

10

ここまでの9章で、登録から案件選び、成果の確認、振込、税金の基本まで一通り体験しましたね。最初の1件を終えた今、気になるのは「この先どう続けていくか」ではないでしょうか。この章では、無理なく・飽きずに・安全に案件を続けていくための習慣づくりをお伝えします。

定期的に案件をチェックする習慣

セルフバックの案件は、ずっと同じ内容が並んでいるわけではありません。新しい案件が追加されたり、条件が変わったり、終了したりを繰り返しています。つまり、1回見ただけで終わりにしてしまうと、せっかくの良い案件を見逃してしまう可能性があるんです。

では、どのくらいの頻度でチェックすればいいのでしょうか。毎日チェックする必要はありません。多くの利用者にとって現実的なのは、週に1回、決まった曜日にチェックするというペースです。たとえば「日曜日の夜に10分だけ見る」と決めてしまえば、習慣として定着しやすくなります。

ここで大事なのは、チェックする時間をあらかじめ区切っておくことです。「気が向いたときに見る」というやり方だと、結局忘れてしまったり、逆にだらだらと長時間見てしまったりします。スマートフォンのカレンダーアプリに「セルフバックチェック」と入力して、毎週同じ時間に通知が来るようにしておくと、忘れにくくなりますよ。

✓ **効率よくチェックするコツ**　コツ

- 前回チェックしたときに気になった案件をメモしておき、次回はそこから見る
- カテゴリを1つか2つに絞って見る（全部見ようとすると疲れてしまいます）
- 新着案件だけをまず確認し、気になるものだけ詳細を読む

また、チェックする際は「今すぐ申し込むかどうか」を毎回決める必要はありません。気になった案件はいったんメモだけしておいて、後でじっくり条件を読み直すというやり方でも十分です。第5章でお伝えした「達成条件を正しく読む」ことを思い出しながら、焦らず確認してください。

一方で、チェックを習慣化しようとするあまり、生活のほかの予定を圧迫してしまうのは本末転倒です。あくまで「副業の一部」であって、生活の中心にする必要はありません。10分で終わらせる、という時間の区切りを守ることが、長く続けるコツになります。

例 ある利用者の例 具体例

会社員のAさんは、最初は毎日チェックしていました。しかし1か月もすると「見る時間がない日」が続き、結局1週間以上放置してしまいました。そこで「日曜の朝、コーヒーを飲みながら10分だけ見る」というルールに変えたところ、半年以上続けられるようになったそうです。

このように、頻度よりも「続けられる仕組み」を作ることのほうが大切です。最初から完璧なペースを目指さず、まずは自分の生活リズムに合う時間帯を見つけてみてください。

季節限定案件の探し方

セルフバックの案件には、年間を通して出ている定番のものだけでなく、季節やイベントに合わせて期間限定で登場する案件もあります。たとえば、年末年始にかけてはクレジットカードやキャッシュレス決済関連の案件が増える傾向がありますし、夏前には旅行や保険関連の案件が目立つこともあります。

こうした季節限定案件は、通常よりも報酬額が高く設定されていたり、普段は見かけない案件が出てきたりすることがあります。**ただし、「期間限定」という言葉に焦らされて、内容をよく確認せずに申し込むのは避けてください**。第4章・第5章でお伝えした「案件の見るべき項目」「達成条件の読み方」は、季節限定案件でも変わらず大切です。

では、どうやって季節限定案件を見つければいいのでしょうか。具体的には次のような方法があります。

- 管理画面のお知らせやバナーを定期的に確認する
- カテゴリ一覧の中で「新着」「期間限定」といった表示がある案件に注目する
- 検索機能で気になるキーワード（たとえば「旅行」「カード」など）を入力して、普段と違う案件が出ていないか確認する

◆ 季節ごとの傾向の一例 ここが要点

時期	増える傾向のある案件
年末年始	クレジットカード、キャッシュレス決済
春（新生活）	口座開設、引っ越し関連サービス
夏前	旅行予約、保険相談

この表はあくまで一般的な傾向であり、必ずこの通りになるわけではありません。年によって、また広告主の方針によって内容は変わります。「だいたいこの時期にこういう案件が増えやすい」という目安として参考にしてください。

季節限定案件を探すときにありがちな失敗は、「期間が短いから」と焦って、条件をよく読まないまま申し込んでしまうことです。たとえば「今月末まで」と表示されていても、実際には「申し込みが今月末まで」であって「条件達成の期限はその先」というケースもあります。逆に「申し込みは今でもいいが、条件達成は今月末までに終えないといけない」というケースもあります。この違いを読み違えると、せっかく申し込んでも成果が認められないことがあります。

! 焦りは判断ミスのもと　つまずきポイント

期間限定という言葉を見ると「早くしないと」という気持ちになりますよね。でも、焦って条件を読み飛ばすと、せっかくの案件が無駄になってしまうことがあります。一呼吸おいて、いつも通り条件を確認する習慣を忘れないでください。

季節限定案件は、普段チェックしていない人ほど見逃しやすいものです。前の節でお伝えした「週1回のチェック習慣」があれば、こうした案件にも自然と気づきやすくなります。習慣と情報収集は、セットで考えるとうまくいきますよ。

無理のないペース配分の考え方

セルフバックを続けていく中で、意外とつまずきやすいのが「ペース配分」です。最初の1件がうまくいくと、「もっとやろう」という気持ちになる人は多いです。しかし、ここで一気に案件を詰め込みすぎると、思わぬところでつまずいてしまうことがあります。

たとえば、1日に5件、6件と申し込みを進めたとします。それぞれの案件には、第5章でお伝えしたような達成条件（期限、回数、対象外になる行動など）がありますよね。件数が増えるほど、「どの案件の条件をいつまでに満たせばいいか」が頭の中で混乱しやすくなります。結果として、条件を満たせずに成果が承認されない、という事態につながりかねません。

では、どのくらいのペースが無理のない範囲なのでしょうか。これは収入状況や生活リズムによって変わるため、一概に「これが正解」とは言えません。ただし、初心者のうちは、同時に進める案件は2〜3件までに絞るというやり方が、管理のしやすさという点で現実的です。

ペースを決める手順 手順

1. 今の生活の中で、セルフバックに使える時間を1週間単位で考える（例:週に2時間）
2. その時間内で、申し込みから条件達成まで無理なく終えられる件数を見積もる
3. 新しい案件に申し込む前に、今進めている案件の状況を確認する
4. 条件を満たせていない案件が2件以上たまったら、新規の申し込みを一時停止する

このように、件数よりも「今どれだけ進行中の案件を抱えているか」を基準にペースを決めると、管理がしやすくなります。

例 詰め込みすぎた例 具体例

Bさんは、ある月に気になる案件を一気に8件申し込みました。しかし、そのうち3件は「会員登録後にアンケートに回答する」という条件があったのを忘れてしまい、期限内に対応できず成果が無効になってしまいました。Bさんは「件数を増やすより、1件ずつ終わらせてから次に進めばよかった」と振り返っていました。

また、「稼げるうちに稼がなくては」と気持ちが焦ってしまうのは要注意です。セルフバックは、継続的な副業の入り口として向いていますが、短期間で大きな金額を得ることを目的とした仕組みではありません。第2章でお伝えした通り、広告主が新規顧客獲得のために報酬を支払う仕組みですから、1人あたりが申し込める案件には限りがあります。焦らず、自分の生活リズムに合わせて少しずつ進めていくことが、長く付き合っていくコツです。

無理のないペースを保つためには、「やらなければ」という義務感よりも、「今週はこの案件を1つ終わらせよう」というくらいの軽い気持ちで取り組むほうが、結果的に続けやすくなります。

自分なりの記録表を作る

第9章では、確定申告のために収支を記録する方法をお伝えしました。この節では、それとは別の視点で、日々の案件管理のための記録表を作ることをおすすめします。税金のための記録は「いくら入ったか」が中心ですが、ここでお伝えする記録表は「今どの案件がどんな状態にあるか」を把握するためのものです。

なぜこの記録表が必要なのでしょうか。セルフバックは、申し込んでから成果が確定するまでに、第7章でお伝えしたように一定の期間がかかります。複数の案件を同時に進めていると、「あの案件、申し込んだけどまだ条件を満たしていなかったかもしれない」「この案件はもう承認されたんだっけ」といったことが、記憶だけでは追いきれなくなってきます。

では、どんな記録表を作ればいいのでしょうか。難しいツールを使う必要はありません。表計算ソフトやスマートフォンのメモアプリでも十分です。最低限、次の項目があれば管理しやすくなります。

項目	記入例
案件名	○○カード新規発行
申し込み日	4月3日
条件	発行後1回利用
期限	5月3日まで
状態	未確定 / 確定 / 振込済み

この表に、気づいたことを一言メモしておくのもおすすめです。たとえば「アンケート回答が必要だった」「メールが届くまで3日かかった」といった記録を残しておくと、次に似た案件に申し込むときの参考になります。

✓ 記録表を続けるコツ コツ

- 申し込んだ直後にその場で記入する（後回しにすると忘れます）
- 状態が変わったタイミング（承認された、振り込まれた）で更新する
- 月に1回、全体を見直して完了した案件を別シートに移す

記録をつけること自体が面倒に感じる人もいるかもしれません。ですが、"見える化"しておくことで、条件の見落としや期限切れといった失敗を減らせます。第6章でお伝えした「条件達成の記録を残す方法」と合わせて使うと、申し込みから振込までの流れ全体を自分の手の中で管理できるようになります。

記録をつけずに感覚だけで進めると、どの案件がどこまで進んでいるか分からなくなり、せっかくの成果を取りこぼす原因になります。最初は面倒に感じても、1か月も続ければ自然と手が動くようになりますので、ぜひ自分に合った形を見つけてみてください。

最後に、この記録表は誰かに見せるためのものではありません。自分が安心して続けるための道具です。完璧な表を作ろうとせず、まずは簡単な項目だけから始めて、必要に応じて増やしていけば十分です。

SUMMARY

この章のまとめ

- ✓ 週1回など決まったタイミングでの案件チェックが継続のコツになる
- ✓ 季節限定案件は条件確認を怠らず焦らず申し込むことが大切
- ✓ 同時進行は2〜3件までに絞ると管理しやすくなる
- ✓ 自分用の記録表を作ると見落としや取りこぼしを防げる

おわりに

ここまで読み進めてくださり、お疲れさまでした。登録の手順から税金の基本まで、一通りの流れをお伝えしてきました。

最後に、やってほしいことは一つだけです。まだA8.netに登録していない人は、今すぐ登録を済ませてください。読んだだけで終わらせず、最初の一歩を今日のうちに踏み出すことが、何より大きな違いを生みます。

登録が済んでいる人は、管理画面を開いて、気になる案件を1つだけブックマークしてみてください。申し込みは明日でも構いません。まずは「見る」ところから始めれば十分です。

セルフバックは、あなたのペースで進めて大丈夫な仕組みです。無理に数をこなす必要はありません。一つひとつの案件を丁寧にこなしていけば、それが自然と習慣になっていきます。

この先、分からないことが出てきたら、該当する章にいつでも戻ってきてください。この教材は、そのためにあります。